

Part 1 基本情報

1. ボリビアプロフィール

- (1) 正式名称 (和文)ボリビア多民族国
(英文)Plurinational State of Bolivia
- (2) 政体 立憲共和制
- (3) 首都 ラパス(法律上の首都はスクレ)
- (4) 面積 109万8581平方km
- (5) 人口 962万人(2008年)
- (6) 民族 先住民族55%、混血32%、欧州系13%
- (7) 言語 スペイン語(他にケチュア語、アイマラ語、グアラニー語等36の先住民言語が2009年制定された新憲法により公用語とされている)
- (8) 宗教 カトリック、プロテスタント、先住民族の伝統宗教
- (9) 略史 1825年スペインより独立
1964～82 年軍事政権
1982～85年シーレス・スアソ大統領(民政移管)
1985～89年パス・エステンソロ大統領
1989～93 年パス・サモラ大統領
1993～97年サンチェス・デ・ロサダ大統領
1997年～2001年バンセル大統領
2001年～2002年8月キログ大統領
2002年8月～2003年10月サンチェス・デ・ロサダ大統領
2003年10月～2005年6月カルロス・メサ・ヒスベルト大統領
2005年6月～2006年1月エドゥアルド・ロドリゲス・ベルツェー大統領
2006年1月～現在フアン・エボ・モラレス・アイマ大統領
- (10) 在留日本人 在留邦人数 2,723人(2006年10月)うち長期滞在者262人
移住者・日系人 13600人(推定)
- (11) 気候 11月頃～3月頃が雨季、4月頃～10月頃が乾季である。

ボリビアの国土の6割を占める標高500m以下の東部低地は熱帯ないし亜熱帯気候であり、年間を通じて高温であるが、乾季にはスールといわれる南風が吹くことがあり、急に気温が下がることがある。中央はアマゾン川上流部分にあたる標高500～3000mの渓谷地帯で年間を通じて温暖である。西部は標高3000m以上の高原・高山地帯であり、年間を通じて冷涼で、日中は強い日差しを伴う。

【参考】「外務省ホームページ各国・地域情勢」外務省

2. 業務のための基礎データ

(1) JICA事務所の概要

【ボリビア事務所 JICA BOLIVIA OFFICE】

住所 : Av. Victor Sanjines No.2678 Edificio Barcelona Piso 5, La Paz, BOLIVIA

郵便物宛先 : Cajón Postal No.11447, La Paz, BOLIVIA

電話 : (591-2) 242-2221

FAX : (591-2) 211-4278

E-Mail : bv_oso_rep@jica.go.jp

勤務時間 : 9:00-18:30(昼休み時間 12:30-14:30)

休日 : 年により若干の変更はあるが、2011年は下記の祝日と土曜日・日曜日

1月1日	元旦
1月2、3日	年始休暇
3月7、8日	カーニバル(ボリビアの祝日)
4月22日	聖週間(ボリビアの祝日)
4月29日	昭和の日
5月2日	労働祭(ボリビアの祝日)
5月3日	憲法記念日
5月4日	みどりの日
6月21日	アイマラ新年(ボリビアの祝日)
6月23日	聖体節(ボリビアの祝日)
7月20日	海の日
9月23日	秋分の日
11月2日	聖霊祭(ボリビアの祝日)
11月23日	勤労感謝の日
12月26日	クリスマス
12月29、30日	年末休暇

(2) JICA事務所周辺地図



事務所までの交通 : 空港からであれば、ラジオタクシーにて、事務所のあるプラサ・エスパニーニャ(エスパニーニャ広場)まで直接行くことができ、値段は50ボリビアンソ。

バスを使うのであれば、空港から出ているマイクロ(全席着席タイプの乗り合いワンボックスワゴン)でプラサ・イサベラ・カトリカ(イサベラ・カトリカ広場)まで行き、そこからラジオタクシーに乗り、エスパニーニャ広場で降りるのが一番確実である。この場合、空港からイサベラ・カトリカ広場まで3.8ボリビアンソ、イサベラ・カトリカ広場からエスパニーニャ広場まで6~8ボリビアンソ。

(3) 日本との時差、日本との時差:-13時間

サマータイム サマータイム : 導入されていない

(4) 祝日、官公庁 祝日: 上記(1)のボリビアの祝日と土曜日・日曜日

(5) ビジネスアワー 官庁: 8時00分より12時及び14時より18時(12時から14時は昼休み)

銀行: 平日月曜日から金曜日は基本的に9時から18時(ただし銀行によって15時、17時に終業)土曜日は午前中のみ。日曜日は休み

商店: 店により違いはあるが、基本的に銀行に準じる。

(6) 言語 業務: 基本的にスペイン語

ホテル、買い物、食事 : 基本的にすべてスペイン語。ホテル、高級レストランでは英語が通じることがある。

(7) 通貨 通貨: ボリビアーノ

(8) 通貨レート 為替レート : 1米ドル=7.04ボリビアンソ(2011年1月)

最新の為替レートは、以下のサイトで確認のこと。

<http://www.Bloomberg.co.jp/analysis/calculators/currency.html>

(「ブルームバーグ 為替レート計算」)

(9) 関係機関【在ボリビア大使館】

住所 : Calle Rosendo Gutiérrez No. 497, esq. Sanchez Lima, La Paz, Bolivia
(Cajón Postal 2725)

電話: (591-2) 241-9110

FAX : (591-2) 241-1919

(10) 有用サイト <http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/bolivia/index.html> (外務省「各国・地域情勢」)

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/index.html> (外務省「渡航関連情報」)

※「生活情報」は特に記載のない限り、JICA事務所のある都市の情報を中心に掲載しています。

1. ホテル、住宅



1-1 ホテル

利用が多いラパスのホテルは、市北部の高級住宅街である標高3600m前後のソポカチ地区にあるが、セントロよりも300mほど標高の低いカラコト地区にもホテルが最近増えつつある。

主なホテルは次のとおりである（詳細はPart3イエローページを参照）。

<ソポカチ地区>

- ・Hotel Radisson Plaza(ラジソン・プラザ・ホテル、歴史が長いホテルであるが近年やや設備が古くなりつつある。)
- ・Hotel Ritz(リッツ・ホテル、歴史が長いホテルであるが近年改築を行い設備・サービスとも良い。台所が大きく長期滞在者にも向く。)
- ・Camino Real Aparthotel(カミノリアル・アパートホテル、台所が大きく長期滞在者にも向く。)
- ・Hotel Plaza(プラサ・ホテル、歴史が長いホテルであるが市内目抜き通りのブラドに面し、付近の交通渋滞、デモの影響を受けやすいのが難点。)

<カラコト地区>

- ・Hotel Camino Real Suites(カミノリアル・スイーツ、築年が新しい。)

1-2 住宅事情

ラパス市内は高地に囲まれた谷間の地形のため、住宅地はほぼ開発されつくしている。賃貸マンションは主に市内北部のソポカチ地区にあるが、建築ラッシュのため月額700～1100米ドル程度で確保できる。特に、日本人は支払いなど金銭的信用があるので好まれており、借りやすい。

セントロから10kmほど離れた近郊(ソナ・スル)には、マンション形式のほか、庭付きの一戸建てもある。この地区の一戸建ては、家族同伴で月額1100～1800米ドルとかなり割高にはなるが、セントロ地区より標高が約300m低く、住みやすい(「1-4 住宅選定上の留意点」を参照)。しかし、単身者や旅行などで家を留守にする機会の多い人には、旅行している間に空き巣に入られ根こそぎ盗難された例もあることから勧められない。入居する場合は警備会社との契約、防犯アラームの設置など盗難対策は十分にしておく必要がある。

1-3 住宅の探し方

住居探しは、前任者の住居に入る、不動産仲介会社に依頼する、新聞広告で探す、直接マンションを訪問するなどの方法がある。不動産仲介会社に直接依頼する場合は、斡旋手数料として家賃相当額の2分の1程度を支払う。また、日

曜日の主要新聞には貸し手の広告がかなり掲載されるので、適当な物件を選んで連絡し、自分で見に行くという方法もある。

不動産業者は以下のとおり(詳細はPart3イエローページを参照)。

・Sra. Marlene Gomez

1-4 住宅選定上の留意点

市内北部のソポカチ地区は通勤・買い物には便利だが、海拔3600m前後に位置する上、坂道も多く、少しの上り勾配でも息切れすることが多い。

ソポカチ地区から約10km南離れている市内南部のカラコト、サンミゲル、フロリダ、アチュマニなどの近郊地区は、セントロ地区に比べ標高が300m程低いので、気温も2度ほど高く、息切れの度合いもずいぶん少なくなる。こちらには閑静な高級住宅が多く、最近では大型のスーパーマーケットもいくつかできており、買い物には不自由はしないが自家用車は必需品となろう。アメリカンスクールや優良私立学校(小・中・高)もあり、子女同伴者には適している。

ソポカチ地区には家具付きの高層マンションが多く、そのほとんどが玄関に管理人を配置して、無用の者や不審者の出入りを管理している。管理人のいないマンションや誰でも自由に出入りのできるマンションは、空き巣、強盗などの心配があるので、その他の条件が多少よくても借りるべきではない。庭付き一戸建ての場合、門、ガレージの扉、玄関、勝手口の施錠がしっかりしていて、各部屋の窓に鉄格子のある家が望ましい。

入居後に故障した場合の修理費は家主との調整を要するため、入居前に冷蔵庫や浴室のボイラーの老朽化など、設備、家具、調度品の状態をよく確認する必要がある。

また、高地なので一日の気温の差が大きく、日照条件の良否が家屋選択の重要な要件となる。南半球に位置するため、日本とは逆に「北向き」の家が望ましい。そのほかの主なチェックポイントとしては、建物の老朽度、遮音の良否、電話の有無、インターネット回線の有無、水の出具合、トイレの状況、湯沸かし器の大きさ、隣人(特にアパートの場合は上の階)、周囲の環境、家主の人柄などが挙げられる。

1-5 住宅の契約

契約期間は1年が一般的である。延長する場合には家賃の値上げを条件に、設備・家具の修理や交換を求めることもできる。また1年未満の契約も交渉次第で結ぶことができる。

契約を行う際には「契約期間中に、貸し手の都合で借り手に住宅からの退去を求める場合は、1か月前に借り手に通告する義務を負う。また、借り手が退去する時も1か月前に家主に予告する」との条項を盛り込むことが一般的である。

ボリビアでは一時保証金・前払い金(1ヶ月家賃程度)の慣習がある。通常、家賃は米ドル契約による場合がほとんどで、現金、銀行振り込みあるいは個人小

切手により毎月前払いで支払う。

1-6 ガス、水道などの手続きと管理

マンションの場合、維持管理、防犯対策、ゴミ処理などを行う管理人が常駐している。これらの費用は月々共益費として入居者が負担することになっている。

その他の主な公共料金については、次のとおりである。

<ガレージ料>

通常家賃に含まれていることが多いが、共益費として借り手が直接支払うこともある。

<電気>

借り手負担で、毎月上旬に請求書がくる。月末までに各自が指定銀行などで支払う。

3か月間支払いが遅れると滞納とみなされ、電気を止められる。

<ガス>

ボンベ入りのプロパンガス(22ポリビアノス)をトラックに積んで売りに来るものを購入する。容器は引き換えとなるため、最初に容器(約150ポリビアノス)を購入する必要がある。管理人のいるアパートの場合、管理人に容器を渡して頼んでおけば、留守中でも買っておいでくれるケースが多い。ただし、一般的には電熱を利用しているのでガスボンベを必要としない家庭が多い。

また都市ガスを引いているマンションは、毎月中旬に請求書がくるので、月末までにBanco de Credito(銀行)、またはガス会社(YPFB事務所)で支払いをする。2か月滞納するとガスが止められる。

<電話>

電話料の請求書は各家庭に送付されてはこない。月の中旬(15日)に電話局へ前月分の電話料を問い合わせ、金額を確認した上で電話局か指定銀行で支払う。電話料は指定銀行でも知ることができる。その際は、電話番号と電話の契約者名(家主の場合が多い)を窓口で告げる。2か月間支払いが遅れると滞納とみなされ電話を切られる。

入居する場合には前の借り手が延滞をしていないか確認する必要がある。

<インターネット>

銀行で電話代などを支払う際、一緒に払うとよい。インターネット接続の契約時に番号を渡される。その番号を告げると名前を確認され、支払いができる。接続料金は60ドルから。おもなインターネット業者は以下の通り。

ENTEL

AXES

<水道>

アパートの場合は共益費に含まれることもある。一戸建て住宅の場合には毎月上旬に請求書がくるので、月末までに各自が指定銀行などで支払う。飲み水としてはあまり適さない。

1-7 家電

(1) 電圧

一般家庭の電圧は110Vと220Vの2種類があり、周波数はいずれも50Hzである。

新しい建物では220Vのみである。

デスクトップパソコンには無停電電源装置(250~500米ドル)を設置することが望ましい。日本の電化製品を使用する場合は100Vなので日本で変圧器を調達する必要がある。



2ピン細丸型両用コンセント

(2) コンセント、モジュージャックの形

コンセントは日本と同型のもものと2ピン細丸型両用のものが多いが、細丸型のみのもコンセントもある。アダプターは当地で購入可能である。



モジュージャック

電話線のモジュージャックは、日本と同型である。

(3) 家電製品

たいていの家電製品は日本のように多機能ではないがシンプルかつ低価格で現地で調達できる。洗濯機は全自動、ドラム式、2曹式があり、ストーブはオイルヒーター、電気ストーブ、ガスストーブがある。掃除機はあるが、吸い込み性能があまりよくない。加湿機はアメリカ製のものがある。テレビ、ステレオ、ビデオデッキ、衣料乾燥機は日本のように小型ではないが、さまざまな種類が販売されている。ドライヤーやホットカーラーも入手可能。

現地で入手困難なものは、電気カーペット、圧力炊飯器である。

1-8 家具保険

家具の値段にもよるが、\$1000相当の家具の場合、年額\$90の保険料が目安。

1-9 その他

家具は、購入の際は非常に高価であるにもかかわらず、処分際には安価に買ったたかれる。家具付き住宅が一般的であるが、不足しているものや取り替える必要のあるものは入居前や再契約の際、家主に備えてもらうようにする。入居後に備えるという約束は守られないことが多い。家主と事前合意の上で、入居前に借主側で家具を購入し、代金は家賃から差し引く方法もある。また、壊れやすいものや高価な装飾品などは家主に引き取ってもらったほうが、破損や盗難の心配がない。入居前には家財目録を必ずつけてもらい、家主とともに確認すること。解約の際も家財目録を再確認し、トラブルのないよう注意する必要がある。一般的に解約時は契約時の状態に戻さなければならない。壁のペンキ塗り、部屋の破損などは見積もりを取り、相当額を家主に支払うようにする。

一戸建て、アパート、下宿とも解約後の家賃、電気、水道、電話料の支払い方法について特に規定はない。同僚や知人に依頼して、あらかじめ見積もった概算

を支払い、あとで精算している。

2. 衣料、理容



2-1 衣料全般

(1) 一般事情

現地の気候は年間を通して日本の初冬か晩秋の状態であり、一年中冬服か合服でよい。日照状態で一日の気温も大きく変わるが、セーターやコート類の着用で調節できる。しかし、サンタクルス、ベニ、パンドなどの低地へ旅行する場合は夏服が必要である。

布地は輸入物が数多くあり、比較的安価で入手できる。仕立ては当地の有名店でもあまりよくない。最近では輸入品の既製服が出回っているので、体に合えば日本で購入するよりも安い。

現地製の服は種類が豊富であるが、すぐに破れたりして長持ちしない。

(2) 日本から持参したほうがよい衣料

一般に衣料は上着、下着類、男性用、女性用、子供用、乳幼児用を問わず可能な範囲で持参したほうがよい。冬場は特に空気が乾燥し、衣類の着脱時には静電気が起きる。

靴は足に合ったものを持参するほうがよい。スニーカー等は輸入品が出回っており、日本で購入する場合と同じだが、革靴やパンプスは作りが悪いので足を痛めることがある。

また、冬場は寒いので、スラックスやパンツの下に着られるような厚手のタイツ、もしくは股引きのようなものを持参するとよい。

(3) 現地で調達したほうがよい衣料

アルパカのセーターおよびマフラーは現地の特産品である。ただし、品質が一定していないので、信用のおける店で高価でも良質のもの（たとえばセーターなら100米ドル程度のもの）を購入したほうがよい。

また、アルパカのコートも現地で購入、または仕立てることができる。気に入ったデザインの切り抜きを持っていくと、同じように仮縫いで体に合わせながら作ってくれる。仕立てのよい既製服を扱う店も数カ所ある。

Beatriz Patiño Canedo

Milma

Yumi

(4) その他の留意点

高地で日射が強いため、日よけ用の帽子、サングラスがあるとよい。

2-2 礼装

(1) パーティー

男性は濃紺の三つ揃いの背広が1着あれば十分である。女性の場合、通常はフォーマルなワンピースかスーツで十分間に合う。

(2) 式典

同上。

(3) 冠婚葬祭

男性も女性も黒い服もしくは濃紺の服をきる。

(4) その他の留意点

パーティーには、和服も喜ばれる。

2-3 洗濯、仕立て、修繕、保管

(1) 洗濯

クリーニング店はドライクリーニングを含め市内に多数あるが、信頼のおける店を選ぶことが肝要である。シミ抜きなどの技術が高いとはいえないので、ときどき無理をして穴をあけられてしまうことがある。また、ダウン製品のクリーニングは避けたほうがよい。

アイロン、電気洗濯機は各種市販されており、また備え付けの家具に含まれることがほとんどなので、特に持参する必要はない。

日本人がよく利用するクリーニング店はLAVAYA。

(2) 仕立て、修繕

最近外国製の生地が多く輸入され、洋服を仕立てる店も増えてきたが、技術はあまり高くない。

(3) 保管

現地では雨季、乾季と気候差はあるが、湿気が少なく虫も非常に少ない。保管上、特に留意すべき点はない。ナフタリンなどは現地で購入可能である。

2-4 美容院、理髪店

市内各所に点在している。外国人と見ると法外な料金を提示してくる店もあるので、店に入った際にまず料金を確認したり、事情通の人に相談したりするとよい。また、日本人の髪質に合ったパーマをかけてくれる店はほとんどないので注意。男性の散髪は、床屋で15ボリビアノス、男女兼用美容院(Unisex)で25ボリビアノス程度である。女性専用の美容院(Salon de Belleza)は、シャンプー、カット、セットで50ボリビアノス前後。美容院により料金に差がある。

また、現地ではフランス製、アメリカ製、スペイン製、ブラジル製の化粧品が購入可能である。価格は日本と同じくらいか、品物によっては安い。

<美容院>

日本人が利用する美容院は次のとおり。

- ・ BETO Estelista Internacional
- ・ RAUL II
- ・ El y Ella

<化粧品>

Calle PotosíにあるデパートShopping Norte(ショッピング・ノルテ)のなかに、

輸入化粧品を扱う店が3、4店舗ある。各店の価格にそれほど差はない。香水類も数多くある。扱っているメーカーは、クリニーク、エリザベスアーデン、エスティローダー、ランコム、クラランス、マックスファクター、メイベリン、ニベア等。ただし最新製品はほとんど置いてない。

ソナー・スールのサンミゲル地区には輸入化粧品を扱う店が多数ある。

Shopping Norteにある化粧品店は次のとおり。

・Tuiggy

・La Mansion del Perfume

そのほか以下の店でも購入ができる

・Natura

露店でも購入できるが、香水は水で薄められていることがある。

3. チップ



3-1 チップ事情

(1) 習慣の有無

高級ホテル、レストランではチップの習慣あり。

(2) 各種サービスに対するチップ

高級なサービスのよいレストランでは料金の5～10%程度のチップを置く。昼食の定食メニューを食べる場合のチップは不要。タクシーには不要。空港で荷物を運んでもらった時などは荷物一個につき5ボリビアン程度払う。

4. 食生活



4-1 外食

(1) 一般事情

レストランは庶民の食堂から高級レストランまでさまざまである。両者とも開店閉店がめまぐるしい。事前に電話を入れてから出かけたほうが無難である。高級レストランでは、よく利用するとサービスがよくなる場合がある。

庶民的なレストランでは、昼食(スープ、メイン、デザート)が6ボリビアンくらいから食べられる。もう少し小ざれいな店になると、10～20ボリビアン程度。

たいていのレストランは昼どきと夜、または昼のみ、夜のみ営業なので、15:00ごろには閉まっていることが多い。

(2) 飲食店

日本人がよく利用するレストランは次のとおりである

(詳細はPart3イエローページを参照)。

<日本料理>

・けんちゃん

・New Tokyo(ニュートウキョウ)

・Furusato(ふるさと)

<中国料理>

- ・東方飯店
- ・Hoja Verde

<西洋料理>

- ・ヴィエナ
- ・リンコン・エスパニョール(スペイン料理)
- ・コメディ(フランス料理)
- ・プロント(イタリア料理)
- ・ラ・スイス・チャレ(スイス料理)
- ・エル・アリエロ(ステーキハウス)
- ・Kuchen Stube(ドイツ菓子店)

<喫茶店>

- ・Kuchen Stube
- ・Cafe Alexander(カフェ・アレキサンダー)
- ・Zona Sur
- ・Cafe "La Terraza"(カフェ・ラテラサ)
- ・Blueberry Cafe



Cafe "La Terraza"(カフェ・ラテラサ)

4-2 食料

(1) 一般事情

商店の営業時間は通常、月～金曜日は10:00～19:00ごろ(12:00～15:00の昼休み時間は閉店する。スーパーマーケット等は除く)、土曜日は午前中のみ営業している。日曜・祝日は基本的に閉店しているが、スーパーマーケット・公設市場や露店など営業しているところもある。

ラパスには、市営の市場が数カ所あるが、その周囲には露店が並んでおり、食料品が豊富に出回っている。また、大きな通りにはスタンド風の露店も多く、タバコや菓子類、書籍などを売っている。

スーパーは日本人が多く住むソポカチ地区及びソナスル地区に複数ある。

(2) 主な食品の出回り状況

ラパスには、ソポカチ地区にFidalga、Hipermaxi、Ketal、ソナスル地区にKETAL、GAVA、Hipermaxiといった日本以上の規模のスーパーマーケットがある。日用雑貨、食料品などはこれらのスーパーマーケットで入手できる。

また、小規模な小売店は市内各地にあり、肉や野菜も売られている。

魚介類、野菜、肉等の生鮮食料品も一通りのものはある。

生鮮食料品などの出回り状況は、次のとおりである。

<魚介類>

チリやペルーから海水魚の冷凍ものが入荷する。

淡水魚としてはチチカカ湖でとれるニジマス(5月から約半年間禁漁期)がある。

ジストマ(寄生虫)がいないので生で食べることができ、日本人には貴重な刺身用の材料になっている。そのほか、ペヘレイ、アマゾン系河川の魚であるスルビヤパクーなどは年間を通じ売られている。

<野菜、乳製品、果物>

現地では、レタス、カリフラワー、ブロッコリー、セロリ、カブ、インゲン、西洋キュウリ、ジャガイモ、タマネギ、トマト、キャベツ、パセリなどは常時入手可能である。

なお、ネギ、ハウレンソウ、大根、白菜、もやし、ゴマは、ときどきMercado Sopocachi(ソポカチ市場)で入手できる。

チーズ、バター、牛乳などの乳製品はスーパーマーケットや市場で売られている。果物は熱帯・亜熱帯産のものが一年中ある。

<肉類>

肉類は豊富に出回っている。値段は安価なものから鶏、羊、牛、豚の順である。

牛肉は和牛に比べて脂肪分が少なく、霜降りのような肉はない。Lomo(ロモ、背肉)、Filete(ヒレ)の部分を買うと食べやすい。アルゼンチン産の牛肉が輸入されていて、軟らかくおいしい。

豚は野生(放牧)の大半が黒豚で、肉も硬い。白豚はきわめて少なく、養豚肉は味が落ちる。

ひき肉は牛ひき肉が一般的である。まれに鶏ひき肉がスーパーマーケットKETALで売られている。ハム、ソーセージ類は豊富である。

<米、パン>

サンタクルスでは在留日本人が日本米を栽培しており、もち米も入手可能である。Mercado(市場)、Almacen(商店)では国産米やアルゼンチン米など多種類の米を扱っている。それぞれの特性をつかんで調理するとよい。

パンは種類も多く安価であるが、現地では一般においしいパンの入手は難しい。

<調味料、食用油>

みそはサンタクルス製のものが手に入る。しょうゆは日本メーカーの「キッコマン」や「ヒゲタ」などがあるが、アメリカ製またはブラジル製のため、日本製のものとは味が少し違う。「味の素」はペルー製が市販されている。食用油は国産のもので十分である。また、だしの素、みりん、ゴマ油、ワサビ(チューブ入りのもの)、トンカツソース、七味トウガラシなどは、市内南部カラコト地区の田中商店(「(3)食料の入手」参照)やサンタクルスで入手可能であるが、いずれも日本の2-3倍と高価である。

<酒類、飲料水>

ビール、スコッチウイスキー、シंगाニ(ブドウからつくった蒸留酒)、ワインなど種類も多く、値段も安価である。日本酒はサンタクルスでブラジル製のものを入手できる。

飲料水はミネラルウォーターが各種販売されている。取扱店に電話で注文すれば、20リットル入りのタンクを自宅まで配達してくれる。水道の生水は飲まないほうがよい。また、水道水には不純物や多量の石灰が混入しているので、濾過器を使用することを勧める。濾過器を日本から持参するのもよい。

<茶>

ユンガス産緑茶がスーパーマーケットKETALにある。田中商店には日本製の日本茶が販売されている。

(3)食料の入手

輸入が解禁になり、ブラジル製ではあるが日本食料品も出回るようになった。豆腐、納豆はボリビア製のものが入手可能である。市場は各居住地域などにあり、一般商店に比べて取扱量が多く新鮮なものが安く入手できるので、人々に広く利用されている。代表的なものとして次の市場が挙げられる。

<市場>

・ランサ市場

サンフランシスコ寺院の裏手、上方ロサリオ地区、Calle Granerosにある。以前は「メルカード・ネグロ」の通称で親しまれていた雑貨市場に隣接している。肉類、湖川産の魚介類や野菜類を主に扱っている。スリ等に注意が必要。

・ロドリゲス市場

ブラサ・サンペドロの近くのベレン地区にあり、規模・取扱量とも現地最大の市場である。扱い品は肉、魚介、穀物類、野菜、果物、雑貨など全般にわたっており、新鮮で安価なので他地区から出向いてくる人も多い。

土・日曜日のみ営業。

・ソポカチ市場

まとまっていて買い物をしやすいが、規模はあまり大きくない。高級住宅地域にあるため、品物は良質のものがあるが、価格は一般に高めである。白菜、大根、もやしが入る。



ソポカチ市場

・カマチヨ市場

シモン・ボリバル通りに沿っており、市の中心であるプラドから最も近く交通の便もよい。市場内はまとまっていて買い物をしやすい。ロドリゲス市場と同様、ほとんどの品物が入手可能である。市場周辺ではスリ等に注意が必要。

<スーパーマーケット>

・Fidalga

アバロア公園の近くにあり、地下駐車場も備わっている。肉、野菜、穀物類(ただし、日本米はない)、酒類、清涼飲料水、乳製品、冷凍食品(輸入品の魚介類など)、缶詰(カニ、ウニ、イカ、タコ、その他の魚介類や果物)、生魚(ペヘレイ、トゥルーチャ<ニジマス>)、麺類(ブラジル製インスタントラーメン、中国製パスタ、スパゲティ、マカロニ、中国製の春雨)、菓子類など、豊富に販売されている。

アルゼンチン産の牛肉はここで常時入手できる。

・KETAL

カラコト地区(所在地: Calle 15)にあるラパスで最大のスーパーマーケット。

日常の食料品、家電製品の品揃えが良い。

<その他>

・Sakie Shop(田中商店) 日本食材店(自家製の豆腐、饅頭あり)



KETAL(アルセ通り、エスパーニャ公園)

4-3 食器、調理器具

(1) 食器、調理器具などの入手

調理用家電は、コーヒーメーカー、ミキサー、ジューサー、トースター、電子レンジ、フードプロセッサーなどが調達可能。メーカーはフィリップス、ナショナル等が多いがブラジルからの輸入品も多く出回っている。冷蔵庫は通常、家具の一部として備え付けてあるため、購入する必要はない。

ラパスは3000mを超える高地に位置し、気圧が低い。このため、沸点が摂氏90度弱になる。

日本の電気炊飯器を使うと、芯が残った炊き上がりになるので、炊飯には現地で入手可能な圧力釜を使うか、日本から電気圧力炊飯器を持参するとよい。

調理器具、鍋類は各種市販されている。包丁類は、肉切り、パン切りなど用途に応じたものが各種あるが、出刃包丁はない。出刃包丁は魚介類の調理以外にも重宝するので持参するとよい。

陶磁器類は高級品を望まなければ、現地でも調達が容易である。高級品は日本やフランスなどからの輸入品で、非常に高価である。

ご飯茶碗など、特にこだわりがなければ現地で購入することができる。日本食材店や韓国食材店で若干販売している。アルミ箔、ラップ類は入手可能である。卵切り、チーズカッター、栓抜き、氷入れなどは欧米製品が多く市販されている。

(2) 日本から持参したほうがよい食器、調理器具

圧力釜は現地でも安価で簡易なものが多く市販されているが、日本製の電気圧力釜・圧力炊飯器などを持参したほうが使い勝手がよい(「5-1 家電製品」も参照)。

5. 生活用品の購入



5-1 家電製品

電圧は110Vと220Vの2種類があり、周波数はいずれも50Hzである。

ボリビアには日本製の電気製品が各種輸入されている。品物によっては日本より安価で入手できる場合もあるが、型はシンプルである。そのほか、韓国製、ブラジル製、アルゼンチン製なども出回っており、特殊なものを除いては調達可能である。「1-7 家電」を参照。

比較的安価に製品を扱う店舗の集まっている地域は、Max Paredes、Uyustusなどである。代表的な家電店は次のとおり(詳細はPart3イエローページを参照)。

・CASEP S.R.L

なお、電気製品を船便で輸送すると、到着までに時間が著しくかかり、盗難や破損の恐れも大きく、関税、通関手数料が高額であり、薦められない。

また空輸は運賃が著しく高い。修理技術が低く、交換部品の種類も限られているなどの事情があるので、小型、軽量のものを除き、現地で調達するほうが無難である。

5-2 家具

家具付き貸家も多い。「1-2 住宅事情」～「1-9 その他」を参照。

代表的な家具店は以下のとおり。

・Mueble Americano

5-3 日用品、雑貨

トイレtpーパーやティッシュペーパー、文房具、掃除用具、バスルーム用小物はスーパーマーケットKETALやMultimasで購入できる。各市場でも安価で売られている。文房具はLibreria(文房具店)のほうが種類豊富である。

・Libreria Pru-Robin S.R.L

5-4 工具、素材

ラパスにはホームセンターのような店はない。小売店が集中している地域で購入する方法が一般的である。San Pedro、Av. Landaeta、Plaza Perez Velasco周辺に店が集まっている。

6. 金融機関



6-1 金融機関

(1) 銀行

多くは口座を米国のUnion Bankに開設している。同社の小切手は、ボリビア政府公認の両替商で米ドル現金、または現地通貨に換金することができる。

個人名義の国内口座は比較的簡単に開設できる。Banco Mercantilの場合、個人口座を開設するとUnion Bankの小切手で入金でき、手数料なしで米ドル現金、または現地通貨が口座に入金される(必要日数は約10～15日)。

キャッシュカードによる引き出しが可能のため便利である。口座には、米ドル口座、ボリビアンソ口座があり、金利はボリビアンソ口座のほうが高い(各口座には約50米ドルのデポジットが必要。「(2)口座の開設と閉鎖」参照)。

他の大手銀行としては、Banco de Credito、Banco Mercantil Santa Cruz、Banco Bisaなどがある。



Banco de Credito

(2) 口座の開設と閉鎖

<利用頻度の高い口座の種類>

Banco Mercantilの米ドル口座、ボリビアンソ口座。ドル口座は100米ドル、ボリビアンソ口座は200ボリビアンソのデポジットが必要。その金額を下回ると手数料を取られるので残高に注意する。デポジットの額は変更されることがあるので、多めに残高を残しておく必要がある。

<口座開設・閉鎖の方法と留意点>

Banco Mercantilの口座開設には、身分証明書とパスポートのコピーが必要。JICA事務所のあるビルの1階にあるBanco Mercantil では30分程度で銀行カード、暗証番号を渡してくれるが、通帳は発行してくれない。

(3) 小切手

小切手を切る時は、現金を受け取る方法と、Banco Mercantilに後日入金しておいてもらう場合とでは書き方が違う。現金で受け取りたい時は「Cash」と書く。

(4) 換金方法

円は換金できない。米ドル、ユーロ、アルゼンチン・ペソ、リアル、チリ・ペソ、ペルー・ペソが換金可能である。以下の両替商ではトラベラーズチェックも換金できる。

<両替商>

利用している両替商は次のとおりである(詳細はPart3イエローページを参照)。

必要な場合は公式の換算証明書が発行される。

- ・ Sudamer Cambio
- ・ Casa de Cambio Guillermo Cáceres

このほかのラパスの主な両替商としては以下がある。

- ・ Internacional S.R.L Casa de Cambio

6-2 クレジットカード

使用できるクレジットカードはVISA、MasterCard、American Express。ラパス市内にはATMがたくさんあり、現金を引き出すことができる。利用する際は、VISAならVISAのマークがついたキャッシュ・ディスペンサーで引き出しを行う。

7. 交通事情



7-1 交通手段

(1) 一般事情

<ボリビア全般>

内陸国であるボリビアの交通は、西部地区アンデス山系と東部地区アマゾン

流域の広大な原始林に阻害されるという地理的要因もあって、隣接諸国と比べて発展が遅れている。

A) 航空

現在、主要都市間、および隣接国への交通手段は、そのほとんどが航空便である。

国内には空港が約160カ所あり、このうち30カ所で定期便のサービスがある。

主要な国内線はアエロスール(5L)のほか、TAM、Aero Condor, Amazonas, BOAが定期便、および不定期便を運航している。

ラパス～コチャバンバ: 1日5～6便

ラパス～サンタクルス: 1日5～6便

ラパス～スクレ: 1日1便

ラパス～タリハ: 週3便

国際線は、アエロスール、アメリカン、タカ、ランチリ、ランペルーがラパスから発着している。

B) 鉄道

鉄道は国内路線としてオルロ～ウユニ～ビジャソン(アルゼンチン国境の町)、サンタクルス～ヤクイバ(アルゼンチン国境の町)、サンタクルス～キハロ(ブラジル国境の町)、スクレ～オルロ～ウユニがあるが、国外に直行する列車は運行していない。

C) バス

バスは主要都市間をつなぐ路線がある。ラパス～コチャバンバ～サンタクルス、ラパス～オルロ、ラパス～ポトシなどの主要国内路線のほか、ラパスとブエノスアイレス(アルゼンチン)、アリカ、イキケ(共にチリ)、アスンシオン(パラグアイ)、サンパウロ(ブラジル)を結ぶ国際路線もある。

・所要時間と運賃

ラパス～コチャバンバ: 7～8時間(20～50ボリビアンソ)

ラパス～オルロ: 4～5時間(10～30ボリビアンソ)

ラパス～サンタクルス: 18時間(60～120ボリビアンソ)

ラパス～スクレ: 16時間(60～120ボリビアンソ)

ラパス～タリハ: 24時間(120～150ボリビアンソ)

時期によって値段が変わる。コチャバンバ、オルロ行きバスは本数が多く、1、2時間おきにターミナルを出る。その他は1日数便。

以上のように高原地帯はラパスを中心に交通網が整備されている。また、アンデス高原にあるチチカカ湖は、隣接国ペルーとその他外国との物資輸出の重要な輸送航路となっている。

一方、北部はアマゾン系の河川が多く水運による交通が一部行われているが、かなりの日数を要する。道路があるもののやはり相当の日数がかかる。特に雨季(11～3月)は通行不可能となる箇所が多い。鉄道はない。

主要都市の市内・郊外には、電車、地下鉄などはない。市内の交通は、バス、

タクシー、自家用車による。

<ラパス市内>

ラパス市内のバスの運賃は、中心地はコレクティブ(大型バス)1ボリビアン、ミニバス(ワゴン車の乗り合いバス)1.5ボリビアンと安価であるが、非常に込んでおり盗難に遭うことも多い。

流しのタクシーの運賃は、中心地では一律約3ボリビアンと安価であるが、相乗りであり、タクシー強盗も発生しているので使用しないこと。

ラジオタクシー(無線タクシー)は割高(市内7ボリビアン～、夜間8～9ボリビアン)であるが、相乗りの心配はなく流しのタクシーよりは安全と言われている。

代表的なタクシー会社は、以下のとおり(詳細はPart3イエローページを参照)。

- ・Radio Taxi Gold Service
- ・Radio Movil Sopocachi
- ・Radio Taxi Columbia

(2) 空港から市内への移動

タクシーが常駐しており、都心部への料金は50ボリビアンである。バスは、ミニバスがPlaza Isabel la Catolicaまで3.8ボリビアン。車体にはAEROPUERTO(空港)と書かれている。

(3) 自家用車を利用する場合

ラパスは高地にあり、坂道も多いことから、出力の大きいマニュアル車が望ましいが、日本でオートマチック車を運転していた人は慣れるのが大変である。坂道での発進および停止をする機会が多く、技術を要する。国内で舗装されているのは主要幹線道路と市街道路のみであり、他は砂利敷道、土道である。地方に出ると川に橋が架かっていない箇所が多く、雨季に降雨があると渡れなくなることも多い。山岳道路が多く道幅が狭い上に曲がりくねり、土質も変化するので、運転に不慣れな人は十分な注意が必要である。可能であれば経験を積んだ運転手を雇うことが望ましい。乗用車での地方旅行は十分現地事情に慣れてから、スペアタイヤ、ジャッキなどの装備を備える必要がある。

車、歩行者ともにマナーはよくない。車は信号無視、方向指示なしの右折・左折などが日常茶飯事であり、歩行者が車を無視して道路に飛び出すことも多く、注意を要する。

以上のことから、必ず保険に入っておくべきである。

(4) レンタカーなどを利用する場合

レンタカー会社は多く、各種の車を目的に応じて借りることができる。

- ・Internacional Rent a Car
- ・American Rent a Car

(5) 地図

ボリビア全土の主要幹線道路地図をABC(道路公団)で購入できる。

(6)その他

該当情報なし。

7-2 交通事故、盗難

(1)対処方法

交通事故に遭遇した場合、ただちに関係機関へ連絡すること。

車同士の事故の場合は保険会社へも連絡する。保険会社が警察に届けるとともに、当事者に代わって処理する。

(2)救急病院

24時間体制の救急指定病院が数力所ある。

(3)車両の盗難、車上荒らし

ガレージに入れない限り、車は場所や時間を問わず盗難の危険性がある。特に夜間の路上駐車は危険なので、タクシーを利用することが望ましい。路上駐車をすると、駐車中の見張りをしてやると声をかけてくる人もいる。これを断るといわずらされる可能性が高いので、応じたほうがよい。車に戻ってきた際に1ボリビア程度のチップを渡すとよい。

また、駐車する際には、車中に貴重品やその他の持ち物などを置かないこと。わずかなものでも、手に入れるために鍵を壊されたり、窓ガラスを割られたりすることがある。たとえとられたものが細かい部品であっても、再度入手するまでにはかなりの手間と費用がかかるので注意すること。

7-3 交通違反

(1)交通法規

車は右側通行である。市街地は一方通行の道路が多い。標識がなく、車両、歩行者とも信号を守らないことが多いので注意すること。

(2)罰金、罰則

駐車違反は、車輪に鉄の歯止めをかまされることがある。

飲酒運転で事故を起こすと留置されることもある。

7-4 車の修理

(1)部品

販売している車種に限って在庫がある。いずれも純正部品は高い。カロウラなど台数が多い車種ほど、部品も多く出回っている。アメリカ製、ペルー製が安価である。

入手できる場所はSan Pedro地区。

(2)修理工場

日本車の主要メーカーの販売代理店は、専属の修理工場を持っている。

・Ovando S. A.(三菱、メルセデス・ベンツ)

・Toyosa(トヨタ)

- ・Imcruz(スズキ)
- ・Taiyo Motores(ニッサン)

8. 通信



8-1 電話

(1) 一般事情

主要都市に居住している場合は問題ない。ただし、新規に回線を設置するには、かなりの日数を要する。住宅選定時には、電話回線が設置されていることを絶対条件とすべきである。

山間部を除き、国内はほぼどこでも公衆電話を利用することができる。公衆電話はテレホンカード式が一般的である。また、携帯電話も普及している。

公衆電話を利用する際には、事前にTarjeta Telefonica(テレホンカード)を購入する必要がある(警察、消防への緊急電話には不要)。このテレホンカードはIC式で、使用期限が短い。Tarjeta Telefonicaは電話局の出張所、道端キオスクなどで購入できる。

また、道端のキオスクでも公衆電話を置いている店があり、使用後に使用した分だけ現金で支払うという店もある。

<電話料金>

市内0.5ボリビアノス/分

市外3ボリビアノス/分

海外(日本) 5ボリビアノス/分

市外・海外への通話料金については時間帯や電話会社によって変動する。

<電話のかけ方>

(ア)市外へ: 010 * + 0を除く市外局番

(ラパス、オルロ、ポトシ県の市外局番は02、コチャバンバ、チュキサカ、タリハ県は04、サンタクルス、ベニ、バンド県は03)

(イ)一般電話から携帯電話へ: 携帯電話番号をそのままダイヤル(ただし、他県の携帯電話にかける場合は010 *をつける。市外局番はいらない)。

(ウ)携帯電話から携帯電話へ: 携帯電話番号をそのままダイヤル(ただし、他県の携帯電話にかける場合は010 *をつける。市外局番はいらない)。

(エ)国際電話(日本へ) : 0010-81(日本の国番号)+ 0を除く市外局番を含む相手先電話番号

* 010以外の電話会社

012、013、014、015も選択できる。

(2) 国内電話

回線が少ないため、日中は混雑する。電話料金を滞納すると通話できないように止められてしまうので注意すること。電話の権利を購入している場合、料金は1カ月の基本料金11ボリビアノスで、200分間までかけることができる(市内通話のみ)。

200分を超えた場合は1分間ごとに0.21ボリビアノスの追加料金がかかる。電話の権利を借りている場合は、1カ月の基本料金79ボリビアノスで、100分間市内通話が利用できる。

(3) 国際電話

ダイヤル直通・オペレーター経由の国際電話が可能である(ダイヤル直通は上記〈電話のかけ方〉を参照)。オペレーター経由の国際電話は、手続きが煩雑な上にトラブルが多いのであまり勧められない。コレクトコールで日本に国際電話をかける場合は、800-10-0081をダイヤルし、日本のオペレーターに通話を依頼する。コレクトコールは最初の1分が1400円、その後1分ごとに追加料金が520円である。

ENTEL(電信電話公社)からも国際電話は可能である。窓口で申し込み、呼ばれたら指定のブースで電話し、終了後に使用料金を支払うシステムになっている。

また、ホテルでは各部屋から国際電話が可能である。

(4) 携帯電話

契約にはPre-Pago(前払い)とPost-Pago(後払い)がある。Pre-Pagoは50ボリビアノスなどのカードを購入し、カードの番号を入力して使用する。Pre-Pagoが一般的。

8-2 電信

(1) ファクシミリ

JICA、大使館、日本企業などはほとんど所有しており、ボリビアの官公庁、企業にも急速に普及している。ファクシミリ本体は現地での調達が可能で、1台500米ドル程度である。

ENTEL(電信電話公社)からも送ることができる。A4サイズ1枚約10ボリビアノス。

(2) テレックス

ENTELで扱っており、日本との交信については問題ない。電子メール、ファクシミリの普及により各オフィスから姿を消しつつある。

(3) 電報

国内は、ENTEL、またはTele-Grafo del Estado に出向いて依頼する。国際電報はENTEL、AAC & RINC、Cable West Coastへ行って依頼する。

(4) インターネット

現地にはインターネットのプロバイダーがいくつかある。

たとえば、Bolnet-Entel(詳細はPart3イエローページを参照)は、入会金20ドル、使用料60ドルで1カ月40時間までのサービスが受けられる。

各種ソフトは入会時に提供されるが、日本語の電子メールソフトはないので日本から持参したほうがよい。

インターネットカフェも多くある。1時間3~5ボリビアノス。また、日本語ソフトを

扱っているインターネットカフェもあるが、少ない。

8-3 郵便

(1) 一般事情

郵便事情はあまりよいほうではない。

国内の郵便料金は、宛先が県内・県外かによって変わる。はがき・封書とも、県内では1.5ボリビアン、県外だと2ボリビアンである。所要日数はまちまちであり、一定していない。早いものは2、3日、遅くなると1カ月程度かかる場合もある。

日本までの国際航空郵便は、はがき・封書とも7ボリビアン、所要日数は1週間程度である。

街中には日本のような郵便ポストはなく、ホテルの受付に依頼するか、郵便局の投函口へ直接投函しなければならない。

また、ボリビア国内の郵便配達には市街地のみである。その他の場合、郵便局止めかバス会社の郵便サービスを利用することとなる。多くの人はCasilla de Correo(私書箱)を使用している。このため、宛先住所よりも私書箱の表記が重要になる。私書箱は中央郵便局内に配置されている。

書留は通知書が配達されるので、それを持参して郵便局で受け取ることになる。この場合、身分証明書か、パスポートが必要である。

郵便小包は中央郵便局内にある郵便税関所に受け取りに行かなければならない。内容物の検査と税金の査定を受けるため、この時もパスポートが必要である。小包の場合はかなりの額が課税される。また、局内はいつも込み合っている。日本から送付する際の注意として、封筒はセロハンテープで閉じないこと。過去に誰かが開封したものとみなされて差出人に戻された、というトラブルが発生したことがある。クリスマスカードなどは開封で送ると料金が安い。

また、郵便物が一部抜き取られたり、届かなかったりするなどのケースもよく発生している。日本からの所要日数は航空便で約14日、船便で約3カ月、小包や荷物はこれより若干日数がかかる。

(2) 課税

印刷物などの引き取りは課税対象外であるが、その他の小包類は課税対象となる。また小包類の引き取りは時間がかかる上、手続きも面倒である。ただし500g以下のものは郵便物扱いとなるため容易に引き取れる。

(3) 国際宅配サービス

郵便以上に早く確実に届くクーリエ便は国際的な企業がサービスを実施している。OCSでは、日本の新聞・雑誌の購読、書籍の取り寄せサービスも行っている。

代表的な国際宅配サービス会社は次のとおり(詳細はPart3イエローページ参照)。

- ・OCS
- ・DHL

9. コンピューター



9-1 ハード、ソフト

(1) 調達の方法

ウインドウズ機が圧倒的にシェアを占めている。

SONY,TOSHIBAなどのノートPCも入手できる。

また、周辺機器およびソフト類は想像以上に大抵のものが入手可能であるが、日本語で活用したい場合にはOSを含め日本語版ソフトを持参することが必要である。

(2) 使用の際の注意

現地の電圧は220Vおよび110V、最近の建物では220Vのみである。電圧が不安定になることもあるので、電圧安定機能付きのトランス(100～150米ドル)が必要である。日本では小さい型が売られているが、ボリビアにはないため、日本から持参しておくことと引っ越しの時などに便利である。また、念のために無停電電源装置(250～500米ドル)も設置することが望ましい。

コンセントの形状に関しては「1-7 家電」を参照のこと。

(3) 修理

修理に関しては「(1) 調達の方法」を参照(詳細はPart3イエローページを参照)。

<コンピューター修理店>

・Interredes(ウインドウズ機)

10. 職場環境、勤務条件



10-1 職場環境、勤務条件

(1) 就業時間

配属先によって異なるが、就業時間が8:30～17:00で、昼休みが1時間入る場合と、8:30～19:00くらいで、昼休みが2～3時間入る場合がある。

(2) 有給休暇

特に有給休暇にあたるものはない。休暇は配属先に許可をもらって休む。

(3) 執務室

個室、机、椅子、棚などは配属先が提供することになっている。パソコンや機器類は用意されていないことが多い。

(4) 通勤事情

通常、タクシー、または自家用車で通勤する。公共交通機関も利用できる。



専門家の職場

11. 出入国手続き



11-1 入国

(1) 空港施設概要

ラパス空港は1975年、アメリカ政府の援助により再整備されたものの、国際空港としてはきわめて小規模である。1997年3月には日本の無償援助による航空

管制施設が供与された。小さな空港なので、待ち合わせで会えないようなことはなく、特に空港内中央にインフォメーションは1つしかないので、目印になる。

1階にはお土産販売店、旅行代理店、カフェテリア、2階はレストラン、サブウェイがある。

空港内は無料の無線LANに接続出来る。

外へ出るとタクシーが客引きをしている。

(2) 入国手続き書類

必要なのはパスポートと入国カードおよび税関申告書である。

(3) 入国審査

入国審査では、簡単な質問のあとパスポートに入国スタンプを押してくれる。

(4) 税関検査

入国の税関審査では無作為に中身をチェックされる。極端に多数のスーツケースや段ボールなどを携行した場合には、無作為に開けられチェックされる場合がある。

(5) 空港内での留意点

ラパス空港は標高4060mの高地に位置しているため、到着時にはなるべくゆっくりと動作を行うことが大事である。到着ロビーには、万が一に備えて酸素ボンベが用意された救急室があり、無料で医師の手当てが受けられる。海拔0m感覚で行動すると、高山病で倒れたりすることもあるので注意すること。

空港内チェックインカウンターでチェックインを行っている間に置き引きにあったケース、建物内ベンチで仮眠している間に足元に置いた荷物を置き引きにあったケースがあるため、荷物については常に注意が必要である。

(6) 出迎え

該当情報なし

(7) 空港からの主な交通手段

タクシーが常駐しており、都心部への料金は50ボリビアノスである。ミニバス(ワゴン車の乗り合いバス)がセントロのPlazalsabel la Catolicaまで3.8ボリビアノスで運行している。車体にAEROPUERTO(空港)と書かれているのでわかりやすい。

(8) その他の留意点

空港内に銀行があり両替可能であるがレートが悪いので、入国当初に必要な少額の現地通貨のみとし、その後必要な換金は市内の両替店で行うのが良い。

11-2 出国

(1) 出国時の概要

入国時の通関・税関検査に比べ、出国時は麻薬の持ち出しを中心に厳重な検査が行われる。出国審査が終わると身体検査も行われる。

(2) リコンファーム

アエロスールによる出国についてはリコンファームは必須である。リコンファーム

ムは3日前までに一度行い、念のため、搭乗日当日にもフライト変更を含め再度確認することが望ましい。

(3) チェックイン

チェックインタイムはフライト予定時刻の2時間前。ホテルのあるセントロ地区から空港までは通常30分程度だが、渋滞により45分程度かかることもある。

国際線のゲートは1カ所のみ。荷物を預ける際は、スプレー缶等を除いておく。中身を調べられることも多いので、鍵はすぐ開けられるようにしておくといよい。

(4) 空港利用税

24米ドル。または、これに相当するボリビア通貨。3カ月以上の滞在者は空港使用による出国税ISAE (Impuesto a las Salidas Aereas al Exterior) 190ボリビアノスを空港利用料に加え払わなければならない。

(5) その他の留意点

観光目的の場合、ビザは不要。パスポートの残存期間は6カ月以上必要である。1回の滞在は30日までで、90日まで延長できる。

11-3 帰国手続き

(1) 帰国時に必要な事務手続き

渡航先追加の有無を確認する。またブラジルに入国(6時間以上の滞在)する場合、イエローカードの提出が求められ、携行していなければ最悪搭乗できないことがある。

(2) 車の処分

買い手を見つける際に新聞広告を出す場合もあるが、知人を通じて売却するのが一般的である。

(3) 家財道具の処分

ほとんどの場合が家具付き住宅のため、特に処分する必要はない。日本から持参した食器類、電気製品などは後任者に適当な値段で譲る、もしくは知人を通じて売却する等が一般的である。日本への輸送には特に煩雑な手続きはない。

以下に記載する輸送会社などに依頼して簡単に行うことができる(詳細はPart3イエローページを参照)。

- Exprinter Cargo
- Circle Cargo
- Activa Intercargo (サンタクルス、コチャバンバ)
- F.D. World Cargo Team
- Uni-X

※OCS(連絡先はイエローページ「18.国際宅配サービス」を参照)も利用可能である。

(4) 住宅の明け渡し

原則として1カ月前に家主に通告し、家財などのリストを確認の上、住宅を明け渡す。

(5)外貨持ち出し規制

特に規制はない。

12. 治安、



※生命・財産に直結すること
でもあり、治安・安全情報に
関しては、各自の責任
において最新かつ正確な情
報を入手してください。

12-1 暴動、クーデターなど

(1)一般事情

2006年1月、エボ・モラレス大統領が就任、ボリビア史上初の先住民出身の大統領として、MAS(社会主義運動党、Movimiento Al Socialismo)を率い、農地改革や天然資源の国有化などの政策を掲げているが、自らの所属する団体、地域などの権利を要求するデモ、スト、道路封鎖が以下のように全国各地で頻発している。

2010年12月、政府によるガソリン・ディーゼル燃料価格値上げに抗議する一般市民の暴動、デモ、ストが全国的に発生。

2010年7-8月、開発プロジェクト実施を要求するポトシ県の一般市民による道路封鎖、デモ、ストが発生。

2008年4月、サンタクルスで自治を要求する青年過激団体が暴動。

2005年6月、天然ガス法をめぐる社会対立が激化、政情が一気に流動化し、メサ大統領が退陣。

2003年10月、天然ガス輸出問題に対する民衆、農民の不満が表面化し、野党、農民団体、労働組合等が、全国各地で道路封鎖や抗議活動。約1週間にわたって、首都ラパスに至る主要国道がすべて道路封鎖され、ガソリンや生活物資が不足する状況となり、社会経済活動はほぼ全面的に麻痺した。特にラパス、エル・アルト両市では、過激化した農民を中心としたデモ隊と軍隊が衝突し、結果として五十数名の犠牲者が出た。この結果、ロサダ大統領は退陣を余儀なくされ、米国へと国外逃亡した

(2)対処法

ア 平時から最低2週間分の水・食料・現金を備蓄。

イ 発生現場に近づかない。

ウ 滞在先で発生した場合には現場を出来るだけ離れる。

エ 離れることが難しい場合は安全を確保できる場所(自宅、ホテル、知人宅)等で状況が沈静化するまで待つ。

12-2 強盗、盗難

(1)一般事情、注意すべき場所、危険地域

近年 JICA 関係者が実際に以下のような犯罪被害に遭遇。最も頻発しているのは外国人旅行者が多いラパス。第二の都市サンタクルスでも偽警官被害が増加傾向。

ア ラパス(首絞め強盗@セメンテリオ、サガルナガ通り、サンフランシスコ寺院周辺、置引@ソポカチ地区の(高級)レストラン、タクシー強盗、偽警官(路上・タク

- シー内で偽札チェックと称し紙幣を抜く)、ケチャップ盗、スリ、ひったくり)
- イ エルアルト(置引@空港ターミナルビル内チェックインカウンター、出国手続き前待合室、出国手続き後待合室)
- ウ オルロ(カーニバルでスプレーを掛けスリ、置引@バスターミナル近く中華レストラン MIMI)
- エ コチャバンバ(路上ピストル強盗、スリ@バスターミナル)
- オ サンタクルス(路上強盗@第一環状線、偽警官@Hotel Continental 前、第一環状線内、ショッピングセンターひったくり抵抗発砲、置引@バスターミナル)
- カ スクレ(スリ@バスターミナル、置き引き@ホテルロビー)
- キ トリニダ(路上強盗)
- ク ポトシ(路上強盗)

(2)住居の防犯対策

以下の3つの防衛線で周辺の住宅と同等以上の安全対策を実施。

- ア 敷地外周: 塀のかさ上げ、レーザーブレードワイヤー、センサー、アラーム、警備員
- イ 建物外周: 窓鉄格子、ドア鋼鉄化、ドア上下への内鍵
- ウ 寝室外周: 窓鉄格子、ドア上下への内鍵、携帯電話、サイレン

(3)市中での防犯対策

- ア 外出に必要な最小限の金品だけを身に付けて携行。(犯罪遭遇時の被害を最小限にするため)
- イ 身分証は必携(当局による尋問時提示)
- ウ タクシーは夜間、流しのタクシーはラジオタクシーを含め利用せず(タクシー強盗被害があるため)、出来るだけ電話で呼ぶ、ミニバスやマイクロが利用可能な場合はそれらを利用。

(4)被害時の心得

未遂や自分の周囲で見かけた他人への犯罪被害も含め、関係機関に直ちに連絡。

(5)その他

- ア 旅券 携行時は服のポケットや旅券携行袋に入れ肌身離さない。カバンに入れない。
- イ 大地震等の緊急事態 関係機関にただちに安否を連絡。
- ウ 携帯電話 電源は常時オン。
- エ コカ葉 ティーパックであっても少量でも日本への持ち込みは違法。
- オ ユンガス・マウンテンバイク・ツアー 死傷事故が多発しており禁止。
- カ ポトシ銀山(セロ・リコ)坑内ツアー 落盤の危険性があるので禁止。

12-3 交通事故

(1)一般事情

都市間の長距離バスが幹線道路上で衝突、転落し多数の死傷者が出る重大

事故が多発。

2010年1-6月に全国で発生した重大自動車事故49件の事故の発生傾向は以下の通り。

ア 発生月 6月15件、5月14件が突出。重大交通事故が社会問題化した1月は8件。12-4月の雨期にがけ崩れ等道路状態が悪くなるが、乾期にも事故は多発。

イ 曜日 月曜10件、火曜5件、水曜8件、木曜6件、金曜7件、土曜6件、日曜7件と月数ほどばらつきはない。

ウ 場所 ラパス—オールロ街道が9件、ユンガスが7件発生しているのが目立つ。

エ 事故車両 長距離バスが19件(エルドラド社3件、トランスコパカバーナ社2件、他14社各1件)と最大。

オ 事故の種類 衝突が25件、崖転落が16件、転倒が8件の順。

カ 死傷者 長距離バス同士の衝突で41人死亡、100人負傷が最悪。

キ 原因 大半の36件が運転手の過失で、車両故障は5件。

(2)対処法

車を利用する際は 真ん中より後ろ、歩道寄りの座席に座る。(車が追突、若しくは対向車がはみ出し正面衝突となった場合、前席ほど衝撃が大きく、またコーナー等で対向車がオーバーランし自分の車のボディ横に衝突した際、歩道側に乗車している方が被害は少ないため。)

12-4 火災、風水害、地震

(1)一般的災害発生状況

2002年2月の雹混じりの集中豪雨で、メインストリートが濁流となって繁華街に突然押し寄せ、人や売店、自動車などが押し流され、大きな被害が出た。ラパス市街は排水設備が整っていない上、すり鉢状の地形から、雨が降るとすり鉢状の底にあたる部分を通っている道路へ雨水が流れ込み、濁流となってしまう。

(2)防災対策

現地ではレンガ造りが中心であり火災の心配はあまりない。しかし、粗雑な電気配線による漏電・過熱や、プロパンガスを使用する場合、燃焼不良による一酸化炭素ガスの発生や、不注意による爆発事故に十分な注意が必要である。

(3)被災時の心得

「12-1 暴動、クーデターなど(2)対処法」を参照。

12-5 緊急連絡先電話番号

- ・日本大使館:02-2419110
- ・警察:119
- ・消防、救急車:110

13. 社交



13-1 風俗習慣

南米各地で見られるものであるが、特徴的なものとしては、「パドリーノ」と呼ばれる慣習がある。ある家庭に子供ができて、その子のために親代わり・スポンサーとなってくれる人物「パドリーノ」を探すのである。

職場のみならず、つき合いのあるボリビア人からパドリーノを依頼されることがしばしばある。bautizo(バウティソ)と呼ばれる子供の洗礼式でのパドリーノ(名付け親)になると、その子が成年に達するまでの誕生日、クリスマス、入学時などに贈り物をしなければならない。その子の父親が亡くなった場合などには、21歳までの教育の面倒をも見なければならぬといった義務を負うことになる。軽い気持ちでは引き受けられない方がよい。

パドリーノにはバウティソのほか、Primera Comunion(プリメラ・コムニオン)と呼ばれる12～15歳時の聖体拝領式(衣装などの援助)、結婚式(式料、音楽バンド出演料などの援助)、家屋の棟上げ式(花やシャンパンなどの援助)やスポーツチーム(ユニホームなどの援助)に対するものなどがある。職場によってはサッカーやバスケットなどのスポーツ大会が開催される。そのつど、所属している部署のみならず、他部署からもユニホームなどを作る資金(100～150米ドル)を負担するパドリーノの依頼がある。

上流階級ではヨーロッパ風の風習で、自分の娘が15歳に達すると社交界へのデビューと称してLa Fiesta de Quince Años(15歳の誕生パーティー)を催す。また、ボリビア人はキリスト教(カトリック)の信仰も厚く、宗教的儀式も重んじられている。

一般市民の間では、地元鎮守神(カトリックが広まる前に信じられていた自然神で、現在はカトリック神と合体している)を祝うPresteと呼ばれるお祭りに由来する祝いが行われる。この時には、親族や友人を招いたパーティーが2～3日間にわたり続き、場合によっては街頭に操り出しバンドの演奏に合わせて踊り、飲んで楽しむという風習がある。

葬式については、故人の亡くなった日から墓に葬られる日まで、その家族はVelatorioと呼ばれる通夜を行う。弔問客は故人のために花輪や花束を供するのが習慣であるが、その額は15米ドル程度のもので十分である。

また、秘書の日(4月26日)、母の日(5月17日)、女性の日(10月11日)には職場や知り合いの女性に、男性から花束などの贈り物をするのが習慣となっている。

13-2 パーティーでの留意点

一般の交際にはふつうの背広にネクタイで間に合うが、やや格式のあるパーティーでは三つ揃い(ダークスーツ)の着用が望ましい。レディーファストに気をつける。パーティーを開く場合は「カクテルパーティー」風の立食式が格式ばらず面倒がなくてよい。現地でのパーティーは、ほとんどがこの形式である。

13-3 来客時の留意点

自宅に招待する場合、室内履きスリッパは失礼にあたる。必ず靴を履くようにする。

13-4 訪問時の留意点

ボリビア人のパーティーなどに出席する場合は、指定された時間よりやや遅めに到着したほうがよい。現地では案内状に指定された時間より1時間程度遅れてパーティーが開始されることがよくある。

結婚の祝いに招待された場合、結婚祝いは当人との関係の深さにもよるが、通常30～150米ドル程度の祝い品(食器、グラス、電気製品などの家庭用品が無難である。欲しいものをあらかじめ確認する習慣はない)を持参する。洗礼のお祝いはあまり高額なものは必要とせず、パーティーに役立つ酒類や花束などを贈るのが一般的である。

親しい友人からの昼食や夕食の招待には、赤ワインやウイスキー、ケーキ、チョコレートなどを持参すると喜ばれる。その際の服装は、正式な夕食への招待であっても男性は平服、ネクタイ着用、女性はドレスシーなワンピース着用で差し支えない。

昼食に頻繁に供されるパリジャーダ(焼き肉)形式の招待では、フォーマルな服装は必要としない。

招待状を受け取った際、パーティーの内容について事前に確認することが必要である。

公式な会議、式典、パーティー(Vino de Honor、Coctel、Cena、Oficialなど)に関しては、男女ともフォーマルな服装で出席する。なお葬儀(通夜)での弔問の際の服装は喪服にこだわることはなく、礼を失しない程度の平服で差し支えない。

なお、ボリビア人への贈答品としては日本的な装飾品、衣料品、子供には日本のおもちゃ、それに学用品なども喜ばれるようである。時計、電卓など小型の工業製品は中国製の安物が大量にボリビア国内で販売されており、適当ではない。

13-5 禁止されている言動(タブー)

ラパス、ポトシ、コチャバンバ、オルロ、チュキサカ県などの農村部の人々(ラパス市などの都会でも人によっては)は写真を嫌う風習があるので、街頭で人物にカメラを向ける際には慎重であること。

また、農村部によっては握手の習慣がないところがあるので、農村に出向いてあいさつする時は、相手が握手を求める時に限り手を差し出すべきである。

公共の場で政治的な話をすることは避けること。

13-6 日本人会

ラパスには、日本からの移住者やその親族である日系人を中心とした日本人会がある。

・ラパス日本人会

Calle Batallon Colorados esq. Federico Zuazo Edificio Sociedad Japonesa 2do Piso

電話:2441194

事務および図書貸し出し受付時間:(月～土)15:00～20:00

13-7 JICA帰国研修員同窓会

JICAの帰国研修員や文部省留学生で組織する帰国研修員同窓会、略称AEBJがあり、各種セミナーを実施している。

Asociacion de Ex-becarios Bolivianos en el Japon- Sede nacional Edif.. Barcelona, Piso 5, Plaza Espana (Sopocachi)

TEL 2-241-6420 aebj@jica-bo.org

13-8 現地の人々との交流

該当情報なし。

14. 教育



14-1 教育事情

(1) 一般事情

ボリビアの学校の分類は、公立校、私立校がある。就学期間は、primaria(初等教育)6年(日本でいう小学校にあたる)、secundaria(中学・高校)6年となっている。

現在のところ、新しい憲法に従って高校卒業まで、12年が義務教育であり、公立校での義務教育は無償である。学校給食として、飲み物とクッキーが授業の中休みに児童に配られる

就学年齢については、prekinder(就学前教育1年目)はその年の3月31日までに4歳になる子供を(以下も同じく、期限は3月31日)、kinder(2年目)は5歳になる子供を対象とする。小学校1年生は6歳になる児童を対象とするが、9歳になる児童まで受け入れる。同様に、高校1年生に関しても、14～17歳になる生徒を受け入れる。

制服着用は義務ではないが、学校長と父母会の間で合意がなされている場合のみ認められる。

学期は、1月中旬に父母が直接学校に赴いて学籍登録が行われ、2月第1月曜日(祝日)から授業が開始される。授業終了は11月中旬で、その後2週間の補習期間を経て、12月上旬に閉校される。授業時間は通常週30時間で、ほとんどが半日のみで終了する。

休暇時期は地域で異なるが、一般的には冬休みが6～7月の3週間、夏休みが12月中旬から2カ月となっている。

1994年の教育改革により、教育への住民参加の重要性が唱えられ、各学校で父母会が組織されて、その代表者が学校委員会を構成している。日本でいうPTAにあたるが、ボリビアでは教員の代わりに自治会メンバーが構成員となっている。学校委員会は、主に学校運営や教職員の執務状況に対する監督を担っている。

(2) 日本人学校

全日制日本人学校は設置されておらず、補習校のみである(詳細はPart3イエローページを参照)。

同補習校はラパス日本人会館内に設置されており、対象は幼稚園から中学3年までである。ここでは日本の文部科学省認定の教科書を用い、国語を中心とした授業が行われている。

授業は毎土曜日の午前中(9:00～12:00)に行われる。現地校の季節休暇の期間には、臨時クラスが月～金曜日(9:00～12:00)に行われる。

修了時には修了証明書が授与される。

<海外子女教育振興財団>

URL : <http://www.joes.or.jp/> E-mail : system@joes.or.jp

受付時間: 9:30～17:30(月～金曜日、祝日・年末年始を除く)

・東京

〒105-0002 東京都港区愛宕1-3-4 愛宕東洋ビル6階

電話 : 03-4330-1349 FAX : 03-4330-1355

・関西分室

〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田1-3-1-200 大阪駅前第一ビル2階

電話 : 06-6344-4318 FAX : 06-6344-4328

(3) 現地校、外国人学校

<現地校>

現地私立校への入学手続きには、出生証明書、両親の婚姻証明書、入学願書、在学・成績証明書などが必要である。カトリック系の私立校では洗礼証明書などが要求されるが、通常日本人の出願の際は、出生証明書(戸籍謄本から現地日本大使館の翻訳証明添付)と在学、成績証明書が必要である。ほかには通常、校長による保護者・本人への面接があり、特に本人は語学能力を試される。

入学料と授業料は学校によりかなり差があるが、入学金は100～1000米ドル、授業料は40～200米ドル程度である。

現地私立校の多くがスクールバスで送迎を行っている。

<外国人学校(アメリカンスクール)>

外国人学校のアメリカンスクール(The Americian Cooperative School)はアメリカの学制に沿ったカリキュラムで、幼稚園(3年)・初等部(5年)と中等部(3年)、高等部(4年)の課程があり、高等部卒業者にはアメリカの高等学校卒業資格が

与えられる。

同伴する子女に十分な英語力のある場合は、定員に空があれば随時編入が認められる。語学力が不足している場合は、学校側が紹介する家庭教師のもとである程度のレベルに達するまで家庭学習が要求される。一定期間の学習のうち(通常6カ月以上は必要)、学校で行われる語学テスト(申し込みは随時)でスピーキング、読解・聴解力が試され、それに合格すると入学を許可される。

入学の手続きのために日本から持参すべき書類はスクールのホームページを(www.acslp.org)を参照のこと。中等部の場合、入学金は10,000ドル、授業料は月1,203ドルであり、このほか送迎バス料などが必要となる。

大使館・関係者の子女は、アメリカンスクール、または現地私立校に通学している。外国人が通う主な学校は以下のとおり。

<現地校>

- ・Saint Andrews(カトリック系)
- ・Colegio Aleman
- ・Colegio Franco Boliviano
- ・Colegio Amor de Dios

<外国人学校(アメリカンスクール)>

- ・ACS(American Cooperative School)

(4) 幼稚園

入学は小・中・高校に比べて容易であるが、入学前の事前の語学習得は必要である。入学金・授業料は一般的にそれぞれ100米ドル程度である。保育園についても金額的には同様である。

La Salle、Saint Andrews、Colegio Alemanといった現地私立校やアメリカンスクールには幼稚園も併設されている。それ以外の有名な私立幼稚園は以下のとおり。

- ・Kinder Maria Auxiliadora
- ・Kindergarten Beata Placida
- ・Kinder Flori Nicole

14-2 教育関係施設

(1) 図書館など

ラパスには、私立図書館、国立サンアンドレス大学内の図書館がある。後者は技術書関係の蔵書が豊富である。各私立校にも図書室はあるが、利用は室内閲覧に限られている。

日本人子女の多くはラパス日本人会が所有している図書室を利用している(利用時間は15:00~20:00)。学習書・文庫本など日本からの寄贈を含めかなりの蔵書数がある。「14-6 日本人会」を参照。

<スポーツ施設>

各現地校・外国人学校とも運動場を持ち、バスケットボール、バレーボール、

サッカーなどの施設は整っている。特にアメリカンスクールには立派な体育館があり、また全天候型の温水プールも所有している。

15. 家庭の使用人



15-1 一般事情

(1) 雇用

知人の紹介が一般的であり、親戚等と人的なつながりが複数・恒常的にある人材が望ましい。日本人の行動特性、日本人家庭の風習を理解している現地人を見つけるのは難しく、できればすでに日本人家庭で勤務経験のある人が望ましい。

(2) 日常管理

雇用之际、希望する作業内容、時間配分などは明確に伝えること。紙に書いて渡すぐらいが必要。勤務状況などで改善して欲しい点についても随時明確に伝える。以心伝心やなんとなく改善されることを期待していても、改善されることはない。遅刻などには厳しく接し、常に雇用者としての威厳保ち、馴れ合いの関係にならないように努める。

15-2 運転手

(1) 雇用

知人の紹介による雇用が一般的であり、よほど緊急の場合を除いて新聞広告を利用しない。雇用する場合には運転歴もさることながら、前職場での評価や家庭環境などを参考にすべきである。

雇用手続きは口頭によるものが一般的で、雇用契約書は特に作成しない。現地の祝日には休暇を与えるのが習慣である。その日に勤務を依頼した場合は、いくらかチップを渡し、別の日に代休を与えること。雇用終了や解雇の手続きは、通常1か月前に口頭で通告すればよい。

退職金は通常1年勤務した人には月給の1か月分、2年の場合は2か月分を支給する。雇用側の事情によって解雇しなくてはならない場合は、3か月分を支給する。

(2) 日常管理

出退勤、走行、燃料、部品管理、洗車、保守点検など、指示は明確に行う必要がある。特に走行管理はプライベートな使用を避けるためにも必要である。現地にはガソリンスタンドが少なく、よく閉鎖されることもある。常に燃料管理をしておくことが望ましい。

(3) 教育指導

現地では歩行者の信号無視も多い。運転マナーはもちろんのこと、安全確認を慎重に行うよう指導する。約束の時間を厳守するよう指導することも大切である。

(4)その他の留意点

車、ガレージ、家の鍵などは必要な時だけ持たせ、目的が終わればすぐ返却させるようにする。解雇した場合、家の鍵を取り替えるなどの慎重さも必要である。

また、身体は常に清潔にしておくことを指導する必要がある。

15-3 家政婦／夫

(1)仕事の種類と人数

アパートの場合は1人、一戸建ての場合は仕事内容や家族構成により雇用している。

仕事の内容は、家事一般として掃除、洗濯、料理、子守りなどである。料理は時間をかけて教える必要がある。給仕も同様である。

(2)雇用

雇用方法としては、家主や前の借家人の家政婦／夫を受け継ぐ、あるいは在留日本人や勤務先のカウンターパートなど信頼できる人の紹介を受けるのが望ましい。雇用人紹介業者からの紹介は避けたほうがよい。紹介者のない家政婦／夫を雇用する場合、雇用期間中、身分証明書を預かることもある。

雇用の手続きは口頭によるものが一般的である。

給与は住み込み・食事付きで月額約60米ドル、通いは交通費込みで75米ドル前後である。支払いはボリビアンによる契約が望ましい。ボーナスは12月に月給の1カ月分相当を支給する慣習がある。給料を引き上げたり物品を与えたりすることは、クリスマスや帰国時などだけにしたほうがよい。

また、雇用後3カ月間は試用期間となり解雇自由であるが、それ以後の解雇・退職には退職金(1年経過ごとに1カ月分を上乗せする)を支払わなければならない。解雇する際、感情的にこじれることがないように注意すること。

(3)日常管理

家政婦／夫はふつう、食事場所も食器も別である。

貴重品などのある部屋は、外出する際には必ず鍵をかける習慣をつける。余裕があれば、貴重品や買いおきの食料品などを入れる倉庫のような部屋を持ち、使用することによって施錠することが望ましい。

15-4 庭師、ガードマン

庭付きの一戸建ての場合には庭師が必要であり、パートの庭師を雇用できる。

一戸建ての場合はガードマンも必要である。

16. メディア



16-1 新聞、雑誌

(1) 現地発行の日刊紙

スペイン語紙が、ラパス3紙(La Prensa, El Diario, La Razón)、サンタクルス5紙(El Deber, El Mundo, La Estrella del Oriente, El Nuevo Día, El Deber del Norte)、コチャバンバ3紙(El Tiempo, Opinión, La Voz)がある。購読料は1カ月25米ドル程度の現地通貨で支払う。宅配可能である。

(2) 日本の日刊紙

OCS事務所がラパスとサンタクルスにあり、依頼すると私書箱へ郵送される。遅延日数は2日程度である(Part 3 イエローページ「18. 国際宅配サービス」を参照)。

(3) 欧米紙／誌

「The New York Times」のほか、「Le Monde」「Newsweek」「Time」「Visión」なども市内の売店で購入できる。

(4) 日本の雑誌、書籍

現地で日本の出版物が購入できる書店はない。ラパス日本人会の図書館にて、貸し出しを受けることができる。

<ラパス日本人会連絡先>

FEDERICO SUAZO, ESQUINA BATALLON COLOLADOS No.98

Tel 番号(2)24411941、2443768

16-2 ラジオ

(1) ラジオ放送局

放送局は多数あり、MW、FMともに聴取できる。

(2) NHKワールド・ラジオ日本(ラジオジャパン)

NHKワールド・ラジオ日本の南米向け放送を受信できる。周波数は、3月末と10月末に変更するので、周波数表を入手のうえ、確認すること。短波専用ラジオは、高性能なものでない限り現地でも購入できる。

<ラジオジャパン問い合わせ先>

NHK国際放送局国際編成部

所在地: 〒150-8001 東京都渋谷区神南2-2-1

電話: 海外から+81-3-3465-1111(平日/日本時間10:00~19:00)

日本国内から0570-066066(NHK視聴者コールセンター/24時間受付)

E-mail: nhkworld@nhk.jp

<周波数表、番組表の入手>

URL: http://www.nhk.or.jp/nhkworld/japanese/radioguide_i.html

(周波数表、番組表確認)

FAX: +81-3-5454-0888 情報番号260

(日本語放送の周波数表・番組表FAXサービス)

郵送: 上記NHK国際放送局企画編成部に請求する。(無料)

(3)聴取可能なその他の外国放送

該当情報なし。

16-3 テレビ

(1)地上波放送局

11放送局があり、無料で受信できる。

(2)衛星放送、ケーブルテレビ

Video Cable Universalなどと契約することにより、アメリカ、ブラジル、ペルーなどのテレビを見ることができる。Cotel TVではNHKワールド・プレミアムが見られる。

アメリカの放送は世界のニュース、スポーツを知ることができ、特に便利である。

契約費用はVideo Cable Universalのみ機械設置時に15.45米ドル、その他の会社は無料、毎月の支払いは各社とも35米ドルである。

主なケーブルテレビ会社は次のとおり(詳細はイエローページを参照)。

- ・Video Cable Universal
- ・Multivision
- ・Cotel TV

<NHKワールド・プレミアム問い合わせ先>

(株)NHK情報ネットワーク「カスタマーセンター」

所在地 : 〒150-0042 東京都渋谷区宇田川町7-13

電話 : +81-3-5458-6601

E-mail : premium@nhk-jn.co.jp

<番組表>

URL : http://www.nhk-jn.co.jp/wp/ind_day1_a.htm (週間番組表確認)

FAX : +81-3-5454-0888 情報番号259 (週間番組表FAXサービス)

(3)テレビ受信

NTSC方式を採用しており、日本と同じである。

17. スポーツ、 趣味、 語学学習



17-1 スポーツ

(1)ゴルフ

ラパス市南地区のはずれ、「月の谷」の近くにラパス市唯一のゴルフ場(LaPaz G.C.)がある。世界一高い地点にある18コース完備のゴルフ場として名物になっている。プレーするには会員になる方法とビジター(会員からの招待)の2つの方法がある

会員料金は、年会費500ドル、月額210ドル、ビジターは週末1回50ドル。

(2) テニス、フィットネス

以下のプールが利用できる(詳細はPart3イエローページを参照)。

・Hotel Europa

(3) その他のスポーツ

アンデス山脈でトレッキングが出来る。

17-2 趣味

folklore音楽に欠かせない楽器(チャランゴ、ケーナ、サンポーニャなど)のレッスンを、サガルナガ通りの楽器店で受けることができる。1時間20ボリピアノから。

ボリビアの踊りも各種習うことができる。

・Instituto Bolivianos de Carreras Tecnicas Superiores

17-3 語学学習

(1) 語学学習施設

主な語学学校は次のとおり(詳細はPart3イエローページを参照)。

・CBA (Centro Bolibiano Americano)

・Pan American English Center

・i.e.

(2) 家庭教師

家庭教師による語学学習は可能。

18. 観光



18-1 地方旅行の留意点

12-2 強盗、盗難を参照。

18-2 主要観光地・保養地

現地には次のような観光地・保養地がある。

＜ティワナコ(Tiahuanaco)のプレ・インカ遺跡＞

ラパス市内から車で約2時間。一般の乗り合いバスのほか、旅行社のツアーもある。時代的にはインカ文明に先立つもので、規模はマチュピチュなどに及ばないが、当時の文明の高さがしのばれる。この遺跡から30分でチチカカ湖畔のグアキ港に達する。

＜チチカカ湖＞

ラパス市内から約1時間半でチチカカ湖に沿う道路に入る。雄大な高地湖の景観のなか、ボート乗りやマス料理を楽しむことができる。渡し船でチチカカ湖を渡りさらに進むと、保養地で知られるコパカバーナに着く。ここから船でチチカカ湖の中の太陽の島、月の島への遊覧ができる。これらの島はインカの遺跡としても

有名である。所要時間はラパス市内から約4時間半である。

<ユンガス溪谷>

東ユンガスと北ユンガスがあり、標高1100～1700mの緑の樹木に包まれた山々や川のせせらぎは、日本の風景を想起させる。年中温暖な気候で花と果物に恵まれた景勝地である。ホテルにはプールもあり、ゆっくり憩うのに適した保養地である。

ラパス市内から車で約3時間であるが、途中かなり険しい山道を通るため、経験のある運転手を雇うことが必要である。また、雨季の通行は非常に危険であるため避けたほうがよい。

<月の谷>

ラパス市内から車で約30分のところにある。乾燥しきった土地にゴツゴツした岩肌が谷一面に広がっており、その名のとおり「月面」を想像させる。

<ペーニャ>

ラパス市内には民族色豊かなフォルクローレを聞かせる店(ペーニャ)がいくつかあり、店によっては食事をとりながら生演奏を聴くことができる。演奏日、開演時間は店によりまちまちなので事前に確認が必要である。

・Marca Tambo

所在地 : Calle Jaen 710

電話 : 02-2340416

世界的な名チャランゴ奏者エルネスト・カブールの演奏が聴ける。

・Puerta del Sol

所在地 : Calle Max Predes 879 Casi esq.Sagarnaga

電話 : 02-2451752

フォルクローレ音楽だけのディスコ。

・Huari

所在地 : Calle Sagarnaga 339

電話 : 02-2316225

チャージ15米ドル。

そのほかに次のような都市がある。

コチャバンバはラパスから車で約8 時間、飛行機で30分のところにある。標高2800m、気候が温暖で避暑地として有名なボリビア第3の都市である。北部ベニ県のトリニダ、ルレナバケや、南部のスクレ、タリハなども保養地として推奨できる。トリニダはアマゾン上流の探勝の足場として、スクレはスペイン的雰囲気強く残る清楚な学園都市として、タリハはアルゼンチンに近い風土と文化を持つ町として、それぞれが独自の特徴を保持しており、興味深いところである。

18-3 旅行代理店

日系の旅行会社も数社あり、日本人の多くはこれら旅行会社を利用している。

日本人が利用する主な旅行会社は次のとおりである。

・島旅行社(日系)

・Globo

Part 3イエローページ「18.国際宅配サービス」「20.輸送会社」を参照。

19. 私財の輸送、 引き取り、 購入



19-1 家財道具

(1) 輸送業者

該当情報なし。

(2) 輸入手続き

ボリビアへ私財を輸送する際、船便の利用は見合わせたほうがよい。海に面していないので、船便が着いてから陸路鉄道の長い輸送期間を経なければならず、その間の盗難などの被害も考えられるからである。航空便による空送は特に問題はない。家具付きの貸家を選べるため、大きな家財道具の輸送は必要ない。

なお、帰国時にボリビアから日本へ輸送する場合も同様である。

(3) 輸入貨物の受け取り港

該当情報なし。

19-2 自動車

(1) 一般状況

市場には日本車、欧米諸国車が各社各車種かなり豊富に出回っている。

ラパスの代理店で発注してから実際に車を手にするまでには、ボリビア政府での登録手続きに時間がかかるため、半年以上覚悟する必要がある。

中古車も比較的高価で売買されるので、帰国時に手放す際の懸念は少ない。

(2) 輸入手続き

通常、現地の販売代理店を通して発注するが多い。

(3) 現地での購入

市場から中古車を購入する場合は、事故車を修理した可能性など前歴が判らないこと、地勢の険峻さ、高度による不完全燃焼、道路舗装の劣悪性、整備、修理技術、燃料の質などの悪条件が重なり自動車の損耗が激しいので、慎重に選択すること。

(4) 自動車登録

ナンバープレートは大きく分けて外交用、国際機関用、公用、一般用、NGOの5種類がある。

(5) 免許証取得

現地で初めて運転免許証を取得する場合には、交通警察指定の教習所にて講習を15日間受講(費用は800ボリビア-ノス程度)、交通警察が行う筆記と実地の試験に合格すれば交付される。取得まで1週間程度かかる。

(6) 保険、税金

保険費用は自動車にもよるが、車両保険込みで年間約1000米ドル程度である。現地では、自動車部品の盗難が多く、交通事故も少なくないため、必ず保険に入っておくべきである。加入に際しては信用のある保険会社の紹介を受けるとよい。

盗難や事故の際の保険手続きには警察の証明が必要であり、手続きに相当の時間を費やす覚悟をしなければならない。証明手続きのためには、詳細な状況説明が必要なので、カウンターパートなどに同行してもらうほうがよい。

20. 地方都市



サンタクルス、コチャバンバ、スクレ、タリハ、ポトシといった都市がある。「7-1 交通手段(1)一般事情」「18-2 主要観光地・保養地」も参照のこと。

Part 3 イエローページ

※特に記載のない限り、JICA事務所のあるラパスの情報が中心になっています。

1. JICA 事務所

所在地	Avenida Victor Sanjines 2678 Edificio Barcelona Piso 5, La Paz, Bolivia
郵便物宛先	Cajon Postal No. 11447, La Paz, BOLIVIA
TEL/FAX	TEL:+591(ボリビア国番号)-2-2422221 FAX:+591-2-2114278
URL/E-mail	URL: http://www.jica.go.jp/bolivia/ E-mail: bv_oso_rep@jica.go.jp

2. 日本大使館

所在地	Calle Rosendo Gutierrez 497 esq. Sanchez Lima, La Paz (Cajon Postal/私書箱 No. 2725)
TEL/FAX	TEL:02-2419110 FAX:02-2411919
URL/E-mail	URL: http://www.bo.emb-japan.go.jp

3. 緊急連絡先電話番号

日本大使館	TEL:02-2419110
警察	TEL:119
消防、救急	TEL:110

4. ホテル

<ソポカチ地区>

■Hotel Radisson Plaza(ラジソン・プラザ・ホテル、歴史が長いホテルであるが近年やや設備が古くなりつつある。)

Av. Arce 2177
TEL:02-2441111 FAX:02-2440593
E-mail: radisson@hn.radissonbolivia.com.bo
料金:シングル160 米ドル、ツイン180 米ドル
使用できるクレジットカード: VISA, MasterCard, American Express

■Hotel Ritz(リッツ・ホテル、歴史が長いホテルであるが近年改築を行い設備・サービスとも良い。台所が大きく長期滞在者にも向く)

Plaza Izabel la Catolica 2478
TEL:02-2433131 FAX:02-2433080
URL: http://www.hotel-ritz-bolivia.com E-mail: reservas@hotel-ritz-bolivia.com
料金:Junior79 米ドル、Senior89 米ドル
使用できるクレジットカード: VISA, MasterCard, American Express

■Camino Real Aparthotel(カミノリアル・アパートホテル、台所が大きく長期滞在者にも向く。)

Av. Capitan Ravelo 2123
TEL:02-2441515 FAX:02-2440055/2441336
URL: http://www.caminoreal.com.bo E-mail: caminoreal@ceibo.entelnet.bo
料金:66~75 米ドル。1~2 人用(67 平方m)88 米ドル、1~4 人用(82 平方m)98 米ドル。
使用できるクレジットカード: VISA, MasterCard, American Express

■Hotel Plaza(プラザ・ホテル、歴史が長いホテルであるが市内目抜き通りのプラドに面し、付近の交通渋滞が激しいのがやや難。)

Av. 16 de Julio 1789
TEL:02-2378311 FAX:02-2391074
E-mail: plaza@plazabolivia.com.bo
料金:シングル90 米ドル、ツイン110 米ドル
使用できるクレジットカード: VISA, MasterCard, American Express

<カラコト地区>

■Hotel Camino Real Suites(カミノリアル・スウィーツ、築年が新しい。)

Av. Ballivian #369 esq. Calle 10 Calacoto, La Paz
TEL:02-279-2323 FAX:02-279-1616
URL: http://www.caminoreal.com.bo/english/Suites%20Hotel/index.html
料金:Junior Suite Simple108 米ドル、Junior Suite Doble 118 米ドル Suite Doble 110 米ドル
使用できるクレジットカード: VISA, MasterCard, American Express
上記の料金には、ビュッフェ形式の朝食(アメリカンスタイル)、ウェルカムドリンクおよび税金が含まれ、Camino Real Spa Club、ビジネスセンター、VIP 会議室の利用もできる。ラパス~エルアルト空港とホテル間のタクシーは45 ボリビアノスで利用できる。

5.不動産業者

- Sra. Marlene Gomez
TEL:02-2411581、71562438(携帯)

6.インターネット業者

- ENTEL TEL:02-2411581、71562438(携帯)

7.仕立て店・衣料品店

- Millma
<http://www.millma.com/1024.htm>
- Beatriz Canedo Patiño Calle
直したい箇所があれば直してくれる。料金は生地によって変わる。
- Yumi Calle
スーツ、ドレス、コートなどの生地が多くある。雑誌の切り抜きなどを持っていくと、同じように作ってくれる。

8.美容院

- BETO Estelista Internacional
Av. 6 de Agosto esq. F. Guachalla 2216
TEL:02-2444025
カット 80 ポリビァノス～。セット 30 ポリビァノス。VISA、MasterCard 使用可。予約したほうがよい。
- El y Ella
Av. Arce, Plaza Isabel La Católica
TEL:02-2444025
カット 80 ポリビァノス～。セット 30 ポリビァノス。VISA、MasterCard 使用可。予約したほうがよい。
- Raul II
Av. Sanchez Lima
TEL:02-2444025
カット 80 ポリビァノス～。セット 30 ポリビァノス。VISA、MasterCard 使用可。予約したほうがよい。
- LAVAYA Calle Victor Sanjinez #2628
TEL:02-2420841
9:00～21:00(土曜10:00～15:00)。
ラパス市内数箇所に店舗を構えるチェーン店。少々高いが信頼できる

9.化粧品

- Twiggy ショッピングノルテ内102 Montenegro 1463(Zona sur)
TEL:02-2407488(ショッピングノルテ) 02- 2774846(ソナ・スール)
9:30～21:00(土曜10:00～21:00)。VISA、MasterCard、American Express 使用可。
- La Mansion del Perfume
ショッピングノルテ内地下1 階
香水の品揃えがよい。化粧品も比較的新しいものが置いてある。
- Natura Av.Montenegro, 866
<http://www.natura.net/bolivia/site.asp>
Tel. 02-279-0509/8860 Fax 02- 277-2952

10.レストラン

- けんちゃん
Batallon Colorado No.98,Esq. Federico Suazo
TEL:02-2442292
(火～日曜)12:00～15:00、18:00～23:00 定休日は月曜日
- New Tokyo(ニュートウキョウ)
Av. 6 de Agosto 2932
TEL:02-2433654
(月～土曜)12:00～15:00、18:30～24:00、(日曜)18:30～24:00
- Furusato(ふるさと)
Batallon Colorado No.98,Esq. Federico Suazo
TEL:02-2442292
(日～土曜)12:00～15:00、18:00～23:00 定休日は月曜日

<中国料理>

■Chifa Oriental 東方飯店 Av. 6 de Agosto 2179

TEL:02-2350208

八宝菜、スープ、チャーハンがおいしい。予約の必要なし。

■Hoja Verde

Av. Ecuador 2518

TEL:02-2412074

台湾料理。餃子がおいしい。日本語メニューあり。ランチメニューなし。予約の必要なし。

<西洋料理>

■Viena (ヴィエナ) Calle Federico Suazo 1905

TEL:02-2391660

■Rincón Español (リンコン・エスパニョル) Calle Hermanos Manchego Nro. 2550 (Entre Pedro Salazar y Av. Arce)

TEL:02-2435306

■La Comedi (コメディ) Pasaje Medinace 11i #2234, Sopocachi

TEL:02-2423561

月曜日～金曜日(12:00～15:00 19:00～23:00)、土日(19:00～23:00)

■Pronto (プロント) Jáuregui 2248

TEL:02-2441369

■La Suisse Chalet (ラ・スイス・チャレ) Av. Muñoz Reyes 1710

TEL:02-2793160

■El Arriero (エル・アリエロ) Av.6 de Agosto#2535(Sopocachi) / Final Montenegro entre Calle 17 y 18(Zona Sur)

TEL:02-2435060(Sopocachi) 02-2792417(Zona Sur)

12:00～24:00 (月曜日から日曜日まで)

<喫茶店>

■Kuchen Stube (クーヘン・シュトゥーベ) Av. 20 de Octubre esq. Rosendo Gutiérrez 461

TEL:02-2361689

ドイツ人経営のドイツ菓子店兼カフェテリア。日曜も開いている。ケーキや菓子パン、クッキーが充実している。持ち帰り可。

■Cafe Alexander(カフェ・アレキサンダー)

Centro(セントロ地区)に3 店舗

Av. 16 de Julio 1832 TEL:02-23312790

Calle Potosi 1091 TEL:02-2406482

Av. 20 de Octubre 2463 TEL:02-2431006

20:00～夜 1:00 はバブ。週末は 2:00 まで。

■Zona Sur (ソナ・スル)

Calle Montenegro 1336

TEL:02-2773410

20:00～夜 1:00 はバブ。週末は 2:00 まで。

■Cafe "La Terraza"(カフェ・ラテラサ)

Av. 16 de Julio 1615

TEL:02-2310701

他に Av.20 de Octubre, Montenegro の 2 店舗がある。コーヒー豆のチョコ菓子、チーズケーキがおいしい。

■Blueberry Café (ブルーベリー・カフェ) Av. 20 de Octubre, Plaza Avaroa

TEL:02-2810240

■Cafe Ciudad(カフェ・シウダッド)

Esq. Batallon Colorados y Plaza del Estudiante

毎日 24 時間開いている。生ビールが飲める。

11.食料品

<魚介類>

■Sea Food Wonder

Av. Garcia Lanza 24 Achumani

TEL:02-2772877

E-mail:edgar_ancieta@hotmail.com

イカ、タコ、貝、ヒラメ、タラなど、ペルー産海産物の冷凍品。

<日本食品>

■田中商店 Almacen Japones

Calle 9 7915 entre Av. Ballivian v Av. Bustamante. Calacoto

TEL:02-2784350

営業時間:(月～金曜)15:00～19:00、(土曜)15:00～18:00

かまぼこ、もち、あずき、みそ、梅干し、コンニャク、納豆、油揚げ、がんもどき、豆腐、サンファン米(10kg/12.5 米ドル)カステラ、和菓子、日本食器、各種乾物 調味料、菓子、たまに日本野菜が販売されている。店は小さいが品揃えがよい。

12.家電製品、家具、文房具

<家電店>

■CASEP S.R.L

Calle Mexico 1530

TEL:02-2374540

9:00～12:30、15:00～19:30

<家具店>

■Mueble Americano

Calle Mexico1437

TEL:02-2416395

VISA、MasterCard 使用可。

<文房具店>

■Libreria Pru-Robin S.R.L

Plaza del Estudiante 1923

TEL:02-2442202 FAX:02-2441957

13.両替商

■Casa de Cambio Guillermo Caceves

Calle Potos· No.909 (Hotel Gloria 内の 1 階。正面入口より左側)

TEL:02-2406060

■Sudamer Cambio

Av. Camacho esq. Colon 1311

TEL:02-2203292 FAX:02-2203196/2202125

E-mail:sudamer@accelerate.com

8:30～12:30、14:30～18:00

トラベラーズチェックは手数料なしで両替してくれる。受け取った現金が全額あるか確認すること。東京三菱信託銀行の小切手は1.5%の手数料で現金化してくれる。

■Internacional S.R.L Casa de Cambio

Calle Potosi esq Yanacochoa

8:30～12:30、14:00～17:00

トラベラーズチェック、米ドル、アルゼンチンペソ、ペルーペソ、チリペソ、ユーロの両替可。小切手も使用可。

14.タクシー

■Radio Taxi Gold Service

Tel. 241-1414

■Radio Movil Sopocachi

Tel. 241-2412

■Radio Taxi Columbia

Tel. 241-3333

15.レンタカー

■Internacional Rent a Car

Calle Federico Zuazo 1942 esq. Batallon Colorados

TEL:02-2441906、77592078(携帯)

E-mail:Internacionalrentacarlapaz@hotmail.com

使用できるカード:VISA、MasterCard、American Express

■American Rent a Car

Av. Camacho 1574

TEL:02-2202933

使用できるカード:VISA、MasterCard、American Express

16.自動車修理工場

■Ovando S. A.(三菱、メルセデス・ベンツ)

Av. Arce 2880
TEL:02-2433347

■Toyosa(トヨタ) Plaza Venezuela 1413
TEL:02-2390930■Imcruz(スズキ) Av. 20 de Octubre 2656
TEL:02-2434949

■Taiyo Motores(ニッサン)

Av. Arce 2609
TEL:02-2433555

■Corporacion Transandina S.R.L(スバル)

Av. 20 de Octubre 2502
TEL:02-2430157

17.インターネット・プロバイダー

■Bolnet-Entel Calle Federico Suazo 1771

TEL:02-2141010
URL:http://www.entelnet.bo/

18.国際宅配サービス

■OCS

Pasaje Jauregui 2255 (detras Cine 6 de Agosto) Edf. El ALAMO Piso 1 of. 3
TEL:02-2443311/2443288 FAX:02-08115602

担当:西沢直美氏、竹野明子氏

日本までの料金(目安):(101~200kg)8 米ドル/kg、(201~300kg)7.8 米ドル/kg、(301~400kg)7.6米ドル/kg。これに税金と成田から各地までの輸送料がかかる。スーツケースの合鍵必要。保険をかけた場合は、荷物全体のおおよその値段の3%を支払う。

■DHL

Calle 7 esq. Av. 14 de Septiembre, Obrajales
TEL:02-2785522

営業時間:8:30~19:00(昼休みなし)

日本までの料金(目安):(100kg)1075 米ドル、(200kg)2034.25 米ドル、(250kg)2497.75 米ドル。保険をかけた場合は荷物全体のおおよその値段の1%を払う。料金は地方へ送りたい場合もこの金額で、追加料金などはない。

19.コンピューター修理店

■Interredes(ウインドウズ機)

TEL:02-2352894

■Mac Center(Macintosh)

Av. Camacho esq. Loayza, Edf. Seanz Piso 1, Oficina 102, La Paz
TEL:02-2202916(FAX 兼用)

20.輸送会社

■Exprinter Cargo

TEL:02-2443738

■Circle Cargo

TEL:02-2440029/2440443

■Activa Intercargo

(サンタクルス)TEL:03-3852061
(コチャパンバ)TEL:04-4252360

■F.D.World Cargo Team

TEL:02-2280419/2281680/2280195

■Uni-X

TEL:02-2357395/2370806

21.教育機関

<日本人学校>

■ラパス補修授業校 Edf. Sociedad Japonesa(ラパス日本人会館)内

TEL:02-2441194

対象:幼稚園～中学3年

入学手続きは、所定の用紙に記入の上、補習校に提出する。費用は入学金が30米ドル、授業料が約50ボリビアンソである。通学用のバスはない。

<現地校>

■La Salle Av. Arequipa 8568, La Florida

TEL:02-2791725

■Saint Andrews Av. Las Retamas s/n, La Florida

TEL:02-2792484

■Colegio Aleman Av. Torrijos, Achumani

TEL:02-2710812

■Colegio Franco Boliviano

Calle 10, Achumani

TEL:02-2771597

■Internacional del Sur

Av. Hector Ormachea 100, Obrajes

TEL:02-2786621

■Cumbre

Av. Ballivian 912, Calacoto

TEL:02-2796091

■Leonardo da Vinci Callapa Bajo 2626

TEL:02-2721021

■Colegio Amor de Dios

Av. Arce 2955

TEL:02-2323638

<外国人学校(アメリカンスクール)>

■ACS(American Cooperative School)

Calle 10 y Pasaje Kamtutas, Calacoto

TEL:02-2792302

<幼稚園>

■Kinder Maria Auxiliadora

Av. Hector Ormachea entre Calles 11 y 12, Obrajes

TEL:02-2782533

■Kindergarden Beata Placida

Calle Fernando Guachalla 309

TEL:02-2442007

■Kinder Flori Nicole

Calle Cuba 1135, Miraflores

TEL:02-2221976

22.ケーブルテレビ

■Video Cable Universal

TEL:02-2431050/2392992

■Multivision

TEL:02-2799799/2790790

■Supercanal Bolivia

Ignasio Cordero 8398 esq. calle 21 San Miguel Zona Sur, La Paz

TEL:02-2799126/2797709 FAX:02-2793199

E-mail:supercanlapaz@accelerate.com

23.プール

■Hotel Europa Calle Tihuanacu

TEL:02-2315656

料金:17.5米ドル(1週間)

24.カルチャーセンター

■Instituto Bolivianos de Carreras Tecnicas Superiores

Av. 20 de Octubre 1824

 TEL:02-2491714

入会金 90 ボリビアン。すでに入会している人に紹介してもらくと 20 ボリビアン安くなる。8 レッスン 50 ボリビアン。ダンス(サルサ、メレンゲ、テクノ、ロック、クンビア、タンゴ、サンバ、フォルクローレ)、音楽(ギター、オルガン、ピアノ、チャランゴ、フルート、サンポーニャ、ケーナ)エアロビクス、絵画、空手、英語、カラオケなど。カルチャーセンターのような場所。

25. 語学学習施設

■Speak Easy

 Av. Arce entre Goitia y Montevideo 2047

 Tel. 2441779

 www.speakeasyinstitute.com

■Instituto Exclusivo

 Av. 20 de Octubre Nro. 2315, Edif. Mechita

 Tel. 02-2421072 Cel. 715-35110

 URL:http://www.instituto-exclusivo.com

■CBA (Centro Boliviano Americano)

 Calle Batallon Colorados Edif. "El Estudiante" P.B.

 TEL:02-2430107 FAX:02-2431342

 URL:http://www.cba.edu.bo/

 スペイン語授業料金:1 時間4.5 米ドル

英語学校。スペイン語の授業も行っている。講師はすべてボリビア人で、日本人に対する教授経験を持っている。また、英語の講師が本業であることから、英語でのコミュニケーションも可能。

■Pan American English Center

 Av. 16 de Julio 1490 Edif. Avenida 7mo. Piso

 TEL:02-2310079 Fax:02-2310079

 E-mail:Paec@caoba.entelnet.bo

 スペイン語授業料金:1 時間 8 米ドル。英語学校。スペイン語の授業も行っている。

26. 旅行代理店

■島旅行社(日系)

 Edif. Naira Calle Potosi 1376

 TEL:02-2372001

■Kei Travel Edif. Las Palmas Av. 20 de Octubre 2005

 TEL:02-2412861

■Globo Edif. Avenida-Planta baja 055

 TEL:02-2355252/2353393
